

(様式第10)

厚生労働大臣

殿

番 番 岩医大病企第 87 号  
令和 6 年 10 月 2 日  
開設者名 学校法人岩手医科大学  
理事長 祖父江 憲治

### 岩手医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

#### 1 開設者の住所及び氏名

住所	〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号
氏名	学校法人岩手医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

#### 2 名称

岩手医科大学附属病院
------------

#### 3 所在の場所

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号
電話 (019)613-7111

#### 4 診療科名

##### 4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

##### 4-2 標榜している診療科名

###### (1) 内科

内科	有
内科と組み合わせた診療科名等	
<input type="radio"/> 1 呼吸器内科	<input type="radio"/> 2 消化器内科
<input type="radio"/> 5 神経内科	<input type="radio"/> 6 血液内科
<input type="radio"/> 9 感染症内科	<input type="radio"/> 10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科
診療実績	
・血液内科 : 血液・腫瘍内科	
・代謝内科 : 糖尿病・代謝内科、内分泌内科	
・感染症内科 : 呼吸器内科	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
<input type="radio"/>	1呼吸器外科	<input type="radio"/>	2消化器外科	<input type="radio"/>	3乳腺外科	<input type="radio"/>	4心臓外科
	5血管外科	<input type="radio"/>	6心臓血管外科		7内分泌外科	<input type="radio"/>	8小児外科
診療実績							
・内分泌外科:外科							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

<input type="radio"/>	1精神科	<input type="radio"/>	2小児科	<input type="radio"/>	3整形外科	<input type="radio"/>	4脳神経外科
<input type="radio"/>	5皮膚科	<input type="radio"/>	6泌尿器科	<input type="radio"/>	7産婦人科	<input type="radio"/>	8産科
	9婦人科	<input type="radio"/>	10眼科	<input type="radio"/>	11耳鼻咽喉科	<input type="radio"/>	12放射線科
<input type="radio"/>	13放射線診断科	<input type="radio"/>	14放射線治療科	<input type="radio"/>	15麻酔科	<input type="radio"/>	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4)歯科

歯科						有
歯科と組み合わせた診療科名						
<input type="radio"/>	1小児歯科	<input type="radio"/>	2矯正歯科	<input type="radio"/>	3歯科口腔外科	
歯科の診療体制						

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	リハビリテーション科	2	児童精神科	3	臨床検査科	4	病理診断科	5	肝臓内科
6	心療内科	7	老年内科	8	緩和ケア内科	9	肝臓外科	10	気管食道外科
11	形成外科	12	頭頸部外科	13	美容外科	14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
68				932	1000

(単位:床)

## 6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	278	205.5	483.5
歯科医師	8	62.3	70.3
薬剤師	83	0	83
保健師	0	0	0
助産師	51	0	51
看護師	1182	0	1182
准看護師	1	0	1
歯科衛生士	5	0	5
管理栄養士	13	0	13

職種	員数
看護補助者	244
理学療法士	27
作業療法士	14
視能訓練士	1
義肢装具士	0
臨床工学士	38
栄養士	0
歯科技工士	0
診療放射線技師	61

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査技師	64	
臨床検査	衛生検査技師	0
その他	0	
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	13	
その他の技術員	0	
事務職員	176	
その他の職員	57	

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

## 7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	52	眼科専門医	11
外科専門医	52	耳鼻咽喉科専門医	15
精神科専門医	10	放射線科専門医	14
小児科専門医	38	脳神経外科専門医	28
皮膚科専門医	7	整形外科専門医	22
泌尿器科専門医	10	麻酔科専門医	10
産婦人科専門医	22	救急科専門医	17
合計			308

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

## 8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 森野 穎浩 ) 任命年月日 令和 6 年 8 月 1 日

### 医療安全関係の学内委員会への出席状況(2023年度出席回数)

- ・総合医療安全対策会議 2023年4月から10回(全12回)
- ・緊急安全対策会議 2023年4月から2回(全4回)

## 9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

### 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	811.4 人	6.7 人	818.1 人
1日当たり平均外来患者数	656.2 人	41.7 人	697.9 人
1日当たり平均調剤数		1289.8	剤

必要医師数	134.64	人
必要歯科医師数	3	人
必要薬剤師数	28	人
必要(准)看護師数	434	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

## 10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	22 床	心電計	有
集中治療室	1261.4 m <sup>2</sup>	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	564.2 m <sup>2</sup>	病床数	45 床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	147.2 m <sup>2</sup>			
	[共用室の場合]	共用する室名			薬務室	
化学検査室	402.6 m <sup>2</sup>	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	(主な設備)	生化学自動分析装置、全自動尿分析装置、総合血液学検査・自動塗抹標本作成装置、免疫発光測定装置、免疫統合自動分析装置 他		
細菌検査室	183.3 m <sup>2</sup>	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	(主な設備)	質量分析計、薬剤感受性試験装置、血液培養自動分析装置、全自動抗酸菌培養検査装置 他		
病理検査室	247.8 m <sup>2</sup>	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	(主な設備)	凍結組織切片作成装置、ホルマリン対策臓器撮影装置、自動ガラス封入・染色装置、システム生物顕微鏡 他		
病理解剖室	50 m <sup>2</sup>	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	(主な設備)	感染防止対策用解剖台、ラミナーフローユニット、プッシュプル型切り出し台、ホルマリン固定液作成装置 他		
研究室	15,148.30 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	研究用機器 他		
講義室	4305.8 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	21 室	収容定員	2848 人
図書室	1229 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	4 室	蔵書数	99800 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

## 11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	84.3 %	逆紹介率	160.1 %
算出根拠	A:紹介患者の数		5,265 人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,005 人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数		1,059 人
	D:初診の患者の数		7,499 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
佐藤 伸之	青森県立中央病院 医療安全推進監、医療安全管理室長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
長谷川 頌	長谷川菜園法律事務所 代表		法律に関する識見を有する者	無	1
奥寺 高秋	元岩手県職員		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
附属病院ホームページに掲載	

## 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	・ロボット支援下内胸動脈採取術(da Vinci) ・ロボット支援下僧帽弁手術(da Vinci)	取扱患者数	13
当該医療技術の概要			
対象疾患に対して、ロボット外科支援システム「ダヴィンチ」を用いてロボット支援下にて手術を施行する。			
医療技術名	ロボット支援下肝切除術(da Vinci)	取扱患者数	8
当該医療技術の概要			
肝腫瘍に対してロボット支援下に腹腔鏡下肝切除術を行う。			
医療技術名	ロボット支援下肝切除術(hinotori)	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
肝腫瘍に対してロボット支援下に腹腔鏡下肝切除術を行う。			
医療技術名	重症筋無力症に対するロボット支援胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
重症筋無力症に対してロボット支援下に手術を行う。			
医療技術名	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
子宮体癌に対する腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術において傍大動脈リンパ節郭清を腹腔鏡下で行う。			
医療技術名	ロボット支援下脾切除術(da Vinci)	取扱患者数	8
当該医療技術の概要			
脾腫瘍に対してロボット支援下に腹腔鏡下脾切除術を行う。			
医療技術名	K865-2 腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術支援機器を用いる場合)	取扱患者数	8
当該医療技術の概要			
上記術式の対象疾患に対して、新規医療機器であるhinotoriTMを用いてロボット支援下にて手術を施行する。			
医療技術名	手術支援ロボットhinotori™を用いた泌尿器科関連手術 ・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
上記術式の対象疾患に対して、新規医療機器であるhinotoriTMを用いてロボット支援下にて手術を施行する。			
医療技術名	子宮がんに対する組織内照射併用腔内照射	取扱患者数	8
当該医療技術の概要			
従来の腔内照射(子宮内アプリケータと腔内アプリケータの併用)に加え、組織内照射用アプリケータを刺入して組織内照射を併用する。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に關し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	9
取扱い患者数の合計(人)	57

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数	疾患名	患者数	
1	球脊髄性筋萎縮症	0	172	低ホスファターゼ症	0
2	筋萎縮性側索硬化症	13	173	VATER症候群	1
3	脊髄性筋萎縮症	0	174	那須・ハコラ病	0
4	原発性側索硬化症	0	175	ウイーバー症候群	0
5	進行性核上性麻痺	2	176	コフィン・ローリー症候群	0
6	パーキンソン病	44	177	有馬症候群	0
7	大脳皮質基底核変性症	1	178	モワット・ウイルソン症候群	0
8	ハンチントン病	0	179	ウイリアムズ症候群	0
9	神経有棘赤血球症	0	180	ATR-X症候群388	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	181	クルーゾン症候群389	0
11	重症筋無力症	17	182	アペール症候群390	0
12	先天性筋無力症候群	0	183	ファイファー症候群391	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	9	184	アントレー・ビクスラー症候群392	0
14	慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多巣性運動ニューロパシー	9	185	コフィン・シリス症候群393	0
15	封入体筋炎	1	186	ロスマンド・トムソン症候群394	0
16	クロウ・深瀬症候群	0	187	歌舞伎症候群	0
17	多系統萎縮症	4	188	多脾症候群	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	5	189	無脾症候群	1
19	ライソゾーム病	0	190	鰓耳腎症候群	0
20	副腎白質ジストロフィー	0	191	ウェルナー症候群	1
21	ミトコンドリア病	4	192	コケイン症候群	0
22	もやもや病	5	193	プラダー・ウイリ症候群	0
23	プリオント病	0	194	ソトス症候群	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0	195	ヌーナン症候群	0
25	進行性多巣性白質脳症	1	196	ヤング・シンプソン症候群	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	197	1p36欠失症候群	0
27	特発性基底核石灰化症	0	198	4p欠失症候群	0
28	全身性アミロイドーシス	1	199	5p欠失症候群	0
29	ウルリッヒ病	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
30	遠位型ミオパシー	0	201	アンジェルマン症候群	0
31	ペスレムミオパシー	0	202	スミス・マギニス症候群	0
32	自己貪食空胞性ミオパシー	0	203	22q11.2欠失症候群	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
34	神経線維腫症	3	205	脆弱X症候群関連疾患	0
35	天疱瘡	4	206	脆弱X症候群	0
36	表皮水疱症	0	207	総動脈幹遺残症	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	1	208	修正大血管転位症	2
38	ステイーヴンス・ジョンソン症候群	0	209	完全大血管転位症	0
39	中毒性表皮壊死症	0	210	単心室症	0
40	高安動脈炎	1	211	左心低形成症候群	1
41	巨細胞性動脈炎	0	212	三尖弁閉鎖症	0
42	結節性多発動脈炎	1	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
43	顯微鏡的多発血管炎	20	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	6	215	ファロー四徴症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	216	両大血管右室起始症	0
46	悪性関節リウマチ	0	217	エブスタイン病434	1
47	バージャー病	1	218	アルポート症候群435	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	219	ギャロウェイ・モワト症候群436	0
49	全身性エリテマトーデス	24	220	急速進行性糸球体腎炎	8
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	11	221	抗糸球体基底膜腎炎	1
51	全身性強皮症	8	222	一次性ネフローゼ症候群	42
52	混合性結合組織病	3	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0
53	シェーグレン症候群	1	224	紫斑病性腎炎	0
54	成人発症スチル病	2	225	先天性腎性尿崩症	0
55	再発性多発軟骨炎	0	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0
56	ペーチェット病	1	227	オスラー病	0
57	特発性拡張型心筋症	10	228	閉塞性細管支炎	0
58	肥大型心筋症	0	229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0
59	拘束型心筋症	0	230	肺胞低換気症候群	0
60	再生不良性貧血	4	231	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	0
61	自己免疫性溶血性貧血	1	232	カーニー複合	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0	233	ウォルフラム症候群	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	5	234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0

## 4 指定難病についての診療

64	血栓性血小板減少性紫斑病	0	235	副甲状腺機能低下症	0
65	原発性免疫不全症候群	1	236	偽性副甲状腺機能低下症	0
66	IgA腎症	21	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
67	多発性囊胞腎	4	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0
68	黄色靭帯骨化症	1	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
69	後縫靭帯骨化症	7	240	フェニルケトン尿症	0
70	広範脊柱管狭窄症	0	241	高チロシン血症1型	0
71	特発性大腿骨頭壊死症	5	242	高チロシン血症2型	0
72	下垂体性ADH分泌異常症	0	243	高チロシン血症3型	0
73	下垂体性TSH分泌亢進症	0	244	メープルシロップ尿症	0
74	下垂体性PRL分泌亢進症	0	245	プロピオン酸血症	0
75	クッシング病	0	246	メチルマロン酸血症	0
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	247	イソ吉草酸血症	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	4	248	グルコーストランスポーター1欠損症	0
78	下垂体前葉機能低下症	3	249	グルタル酸血症1型	0
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1	250	グルタル酸血症2型	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0	251	尿素サイクル異常症	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0	252	リジン尿性蛋白不耐症	1
82	先天性副腎低形成症	0	253	先天性葉酸吸收不全	0
83	アジソン病	0	254	ボルフィリン症	0
84	サルコイドーシス	15	255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
85	特発性間質性肺炎	10	256	筋型糖原病	0
86	肺動脈性肺高血圧症	3	257	肝型糖原病	0
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0	258	ガラクトースー1-リノ酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
88	慢性血栓栓塞性肺高血圧症	6	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
89	リンパ脈管筋腫症	0	260	シトステロール血症	0
90	網膜色素変性症	0	261	タンジール病	0
91	パッド・キアリ症候群	1	262	原発性高カリヨムクロン血症	0
92	特発性門脈圧亢進症	0	263	脳膜黄色腫症	0
93	原発性胆汁性胆管炎	12	264	無βリポタンパク血症	0
94	原発性硬化性胆管炎	2	265	脂肪萎縮症	0
95	自己免疫性肝炎	6	266	家族性地中海熱	0
96	クローン病	34	267	高IgD症候群	0
97	潰瘍性大腸炎	17	268	中條・西村症候群	0
98	好酸球性消化管疾患	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	270	慢性再発性多発性骨髓炎	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	271	強直性脊椎炎	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
103	CFC症候群	0	274	骨形成不全症	0
104	コステロ症候群	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
105	チャージ症候群	0	276	軟骨無形成症	1
106	クリオビリン関連周期熱症候群	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
107	全身型若年性特発性関節炎	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
108	TNF受容体関連周期性症候群	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0	280	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
110	プラウ症候群	0	281	クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	0
111	先天性ミオパチー	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	283	後天性赤芽球病	0
113	筋ジストロフィー	4	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	285	ファンコニ貧血	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
116	アトピー性脊髄炎	0	287	エプスタイン症候群	0
117	脊髄空洞症	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
118	脊髄髓膜瘤	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
119	アイザックス症候群	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
120	遺伝性ジストニア	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0
121	脳内鉄沈着神経変性症	0	292	総排泄腔外反症	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	293	総排泄腔遺残	0
123	HTRA1関連脳小血管病	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0

## 4 指定難病についての診療

124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	296	胆道閉鎖症	0
126	ペリー病	0	297	アラジール症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	298	遺伝性膜炎	0
128	ビックースタッフ脳幹脳炎	0	299	囊胞性線維症	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	300	IgG4関連疾患	0
130	先天性無痛無汗症	0	301	黄斑ジストロフィー	0
131	アレキサンダー病	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
132	先天性核上性球麻痺	0	303	アッシャー症候群	0
133	メビウス症候群	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
135	アイカルディ症候群	0	306	好酸球性副鼻腔炎	3
136	片側巨脳症	0	307	カナバン病	0
137	限局性皮質異形成	0	308	進行性白質脳症	1
138	神経細胞移動異常症	0	309	進行性ミオクローヌスてんかん	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	310	先天異常症候群	0
140	ドラベ症候群	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
142	ミオクロニ一欠神てんかん	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
143	ミオクロニ一脱力発作を伴うてんかん	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	315	ネイルバテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0
145	ウエスト症候群	0	316	カルニチン回路異常症	0
146	大田原症候群	0	317	三頭酵素欠損症	0
147	早期ミオクロニ一脳症	0	318	シトリン欠損症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシテール(GPI)欠損症	0
150	環状20番染色体症候群	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
151	ラスマッセン脳炎	0	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
152	PCDH19関連症候群	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	326	大理石骨病	0
156	レット症候群	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	328	前眼部形成異常	0
158	結節性硬化症	0	329	無虹彩症	0
159	色素性乾皮症	0	330	先天性気管狭窄症	0
160	先天性魚鱗癖	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	2	333	ハッチソン・ギルフォード症候群	0
163	特発性後天性全身性無汗症	3	334	脳クレアチニン欠乏症候群	0
164	眼皮膚白皮症	0	335	ネフロン病	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0	336	家族性低 $\beta$ リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	337	ホモシスチン尿症	0
167	マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群	0	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滯症	0
168	エーラス・ダンロス症候群	0	339	MECP2重複症候群	0
169	メンケス病	0	340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0	341	TRPV4異常症	0
171	ウィルソン病	0			

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	73
合計患者数(人)	454

## 高度の医療の提供の実績

## 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
情報通信機器を用いた診療に係る基準	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
地域歯科診療支援病院歯科初診料	ハイリスク妊娠管理加算
歯科外来診療医療安全対策加算2	ハイリスク分娩管理加算
歯科外来診療感染対策加算3	呼吸ケアチーム加算
歯科診療特別対応連携加算	術後疼痛管理チーム加算
特定機能病院入院基本料	後発医薬品使用体制加算1
特定機能病院入院基本料	病棟薬剤業務実施加算1
救急医療管理加算	病棟薬剤業務実施加算2
超急性期脳卒中加算	データ提出加算
診療録管理体制加算3	入退院支援加算
医師事務作業補助体制加算1	精神科入退院支援加算
急性期看護補助体制加算	認知症ケア加算
看護職員夜間配置加算	せん妄ハイリスク患者ケア加算
療養環境加算	精神疾患診療体制加算
無菌治療室管理加算1	精神科急性期医師配置加算
無菌治療室管理加算2	排尿自立支援加算
緩和ケア診療加算	地域医療体制確保加算
小児緩和ケア診療加算	地域歯科診療支援病院入院加算

精神科応急入院施設管理加算	救命救急入院料3
精神病棟入院時医学管理加算	特定集中治療室管理料1
精神科身体合併症管理加算	ハイケアユニット入院医療管理料1
精神科リエゾンチーム加算	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
摂食障害入院医療管理加算	総合周産期特定集中治療室管理料
医療安全対策加算1	新生児治療回復室入院医療管理料
感染対策向上加算1	小児入院医療管理料2
患者サポート体制充実加算	緩和ケア病棟入院料1
重症患者初期支援充実加算	児童・思春期精神科入院医療管理料
報告書管理体制加算	

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料	人工中耳植込術
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
糖尿病合併症管理料	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
がん性疼痛緩和指導管理料	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
がん患者指導管理料イ	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
がん患者指導管理料ロ	顎関節人工関節全置換術(歯科)
がん患者指導管理料ハ	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
がん患者指導管理料ニ	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
外来緩和ケア管理料	乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
糖尿病透析予防指導管理料	乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
婦人科特定疾患治療管理料	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腎代替療法指導管理料	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
二次性骨折予防継続管理料1	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
二次性骨折予防継続管理料3	胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
下肢創傷処置管理料	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

慢性腎臓病透析予防指導管理料	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来放射線照射診療料	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
外来腫瘍化学療法診療料1	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
連携充実加算	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
がん治療連携計画策定料	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
外来排尿自立指導料	胸腔鏡下弁形成術
ハイリスク妊産婦連携指導料1	胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ハイリスク妊産婦連携指導料2	胸腔鏡下弁置換術
こころの連携指導料(Ⅱ)	経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)
薬剤管理指導料	経皮的僧帽弁クリップ術
医療機器安全管理料1	胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術
医療機器安全管理料2	不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
医療機器安全管理料(歯科)	不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
精神科退院時共同指導料1及び2	経皮的中隔心筋焼灼術
歯科治療時医療管理料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
救急搬送診療料の注4に規定する重症患者搬送加算	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
在宅患者訪問看護・指導料の注16(同一建物居住者訪問看護・指導料の注6の規定により準用する場合を含む。)に規定する専門管理加算	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)

在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
遺伝学的検査の注1に規定する施設基準	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
骨髓微小残存病変量測定	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
BRCA1／2遺伝子検査	経皮的下肢動脈形成術
がんゲノムプロファイリング検査	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
先天性代謝異常症検査	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
検体検査管理加算(IV)	腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
国際標準検査管理加算	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
遺伝カウンセリング加算	腹腔鏡下胃縮小術
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	腹腔鏡下胆囊悪性腫瘍手術(胆囊床切除を伴うもの)
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	胆管悪性腫瘍手術(脾頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	腹腔鏡下肝切除術
胎児心エコー法	腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ヘッドアップティルト試験	移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)

人工脾臓検査、人工脾臓療法	生体部分肝移植術
長期継続頭蓋内脳波検査	同種死体肝移植術
神経学的検査	体外衝撃波膝石破碎術
補聴器適合検査	腹腔鏡下脾腫瘍摘出術
小児食物アレルギー負荷検査	腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術
経頸静脈的肝生検	腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
CT透視下気管支鏡検査加算	腹腔鏡下脾中央切除術
口腔細菌定量検査	腹腔鏡下脾頭部腫瘍切除術
有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	腹腔鏡下脾頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
有床義歯咀嚼機能検査2の口及び咬合圧検査	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
精密触覚機能検査	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
画像診断管理加算4	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
歯科画像診断管理加算1	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
歯科画像診断管理加算2	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
遠隔画像診断	腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	同種死体腎移植術
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	生体腎移植術
CT撮影及びMRI撮影	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
冠動脈CT撮影加算	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
血流予備量比コンピューター断層撮影	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
外傷全身CT加算	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

心臓MRI撮影加算	腹腔鏡下仙骨腔固定術
乳房MRI撮影加算	腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
小児鎮静下MRI撮影加算	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
頭部MRI撮影加算	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
全身MRI撮影加算	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
肝エラストグラフィ加算	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
外来化学療法加算1	体外式膜型人工肺管理料
無菌製剤処理料	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	輸血管理料Ⅱ
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	貯血式自己血輸血管理体制加算
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	コーディネート体制充実加算
摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2	自己生体組織接着剤作成術
がん患者リハビリテーション料	自己クリオプレシピート作製術(用手法)
リンパ浮腫複合的治療料	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
通院・在宅精神療法の注8に規定する療養生活継続支援加算	広範囲頸骨支持型装置埋入手術
通院・在宅精神療法の注11に規定する早期診療体制充実加算	麻酔管理料(Ⅰ)
通院・在宅精神療法の注12に規定する情報通信機器を用いた精神療法の施設基準	麻酔管理料(Ⅱ)
救急患者精神科継続支援料	周術期薬剤管理加算
認知療法・認知行動療法1	放射線治療専任加算

精神科ショート・ケア「小規模なもの」	外来放射線治療加算
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	高エネルギー放射線治療
医療保護入院等診療料	一回線量増加加算
多血小板血漿処置	強度変調放射線治療(IMRT)
人工腎臓	画像誘導放射線治療(IGRT)
導入期加算3及び腎代替療法実績加算	体外照射呼吸性移動対策加算
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	定位放射線治療
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	画像誘導密封小線源治療加算
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	保険医療機関間の連携による病理診断
ストーマ合併症加算	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
皮膚移植術(死体)	デジタル病理画像による病理診断
自家脂肪注入	病理診断管理加算2
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	悪性腫瘍病理組織標本加算
椎間板内酵素注入療法	クラウン・ブリッジ維持管理料
緊急穿頭血腫除去術	皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	看護職員待遇改善評価料64
頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	入院ベースアップ評価料77

癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	耳管用補綴材挿入術
舌下神経電気刺激装置植込術	バイオ後続品使用体制加算
経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「特設機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

## 8 病理・臨床検査部門の概要

① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月 10回	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数(例)	13
	剖検率(%)	3.2

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高齢者筋層浸潤性膀胱癌に対するMMC+UFTを用いた化学放射線療法の臨床研究	有賀 久哲	放射線腫瘍学科	650,000	補助文部科学省 委
感温性磁性体を用いた癌の低侵襲的温熱療法の研究	齊藤 元	呼吸器外科学講座	520,000	補助文部科学省 委
筋層非浸潤性膀胱癌におけるBCG膀胱内注入療法感受性プロファイル探索研究	加藤 陽一郎	泌尿器科学講座	260,000	補助文部科学省 委
間葉系幹細胞の抗炎症性免疫細胞誘導能を応用した変形性頸関節症新規治療戦略の確立	間山 寿代	口腔保健育成学講座歯科矯正学分野	1,040,000	補助文部科学省 委
損傷形態と機能に着目した3Dイメージングによる半月板損傷の新たな治療	田島 吾郎	整形外科学講座	650,000	補助文部科学省 委
子どもの先天性難聴の遺伝学的検査の意味:親の視点からどう捉えられているか	山本 佳世乃	臨床遺伝学科	780,000	補助文部科学省 委
腺窩上皮型胃癌における臨床病理学的および網羅的分子解析	上杉 憲幸	病理診断学講座	260,000	補助文部科学省 委
Adamkiewicz動脈の画像診断支援システムの開発	吉岡 邦浩	放射線医学講座	910,000	補助文部科学省 委
ロボットPCIにおける安全性・IVUSガイドの有効性・遠隔手術実現性の検証	肥田 賴彦	内科学講座循環器内科分野	910,000	補助文部科学省 委
ストレスに伴うアトピー性皮膚炎の増悪機構と制御に関する研究	天野 博雄	皮膚科学講座	780,000	補助文部科学省 委
転写因子GATA-2を介した造血幹細胞と造血微小環境の機能的連関の解明	藤原 亨	臨床検査医学・感染症学講座	1,300,000	補助文部科学省 委
褐色/ベージュ脂肪細胞の活性化機構の解明と肥満・糖尿病治療への応用	長谷川 豊	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	130,000	補助文部科学省 委

小計12件

脳主幹動脈閉塞病変による慢性脳虚血における脳温度上昇と脳脊髄液動態との関連の解明	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	910,000	補委 文部科学省
脳梗塞慢性期における血行再建術後のアミロイド排出と大脑白質微細構造変化の関係	小林 正和	脳神経外科学講座	1,170,000	補委 文部科学省
高解像度7T-MRIによる未破裂脳動脈瘤壁厚評価法の確立	幸治 孝裕	脳神経外科学講座	910,000	補委 文部科学省
上部尿路上皮癌術後経過における血中・尿中ctDNA変異遺伝子モニタリング	小原 航	泌尿器科学講座	910,000	補委 文部科学省
子宮体部漿液性癌の治療抵抗性を克服する腫瘍-宿主統合的治療法の探索	馬場 長	産婦人科学講座	650,000	補委 文部科学省
岩手県における難聴児のオンライン診療のシステム構築	菅野 智子	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	520,000	補委 文部科学省
水晶体上皮細胞の上皮間葉系移行における細胞内シグナル伝達機構の解析	黒坂 大次郎	眼科学講座	650,000	補委 文部科学省
Mg-Sr修飾型吸収性ハイドロキシアパタイト線維を用いた革新的骨再生材料の開発	今 一裕	補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野	1,170,000	補委 文部科学省
リン酸八カルシウム・コラーゲン複合体と自家骨とによる広範囲顎骨再建法の確立	川井 忠	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	637,000	補委 文部科学省
補綴装置製作における口腔内スキャナーを用いた正しい咬合採得方法を探る	田邊 憲昌	補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野	780,000	補委 文部科学省
放射線性顎骨壊死に対する薬剤を用いた新規保存的治療の実験的研究	宮本 郁也	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	1,300,000	補委 文部科学省
口腔マイコプラズマのヒト口腔粘膜上皮ゲノム変異因子としての可能性	齋藤 勇起	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	1,040,000	補委 文部科学省
うま味受容体が俯瞰するエネルギー代謝制御による肥満予防を目指した分子基盤の確立	森川 和政	口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野	325,000	補委 文部科学省

特別支援学校における嚥下機能と食提供の"ミスマッチ"をなくす取り組み	熊谷 美保	口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野	780,000	補文部科学省委
dMMR/MSI型胃癌は切除検体および生検の病理組織像から同定できるのか?	杉本 亮	病理診断学講座	1,820,000	補文部科学省委
ナトリウム/カリウム比調整醤油の使用で高齢者の安全な降圧は可能か?	高橋 智弘	総合診療医学講座	910,000	補文部科学省委
超高線量率照射(FLASH)に対応した放射線治療用小型線量率計開発	山口 哲	放射線医学講座	260,000	補文部科学省委
人工知能を用いた大動脈解離発症リスクの同定および発症高リスク群共有システムの確立	折居 誠	放射線医学講座	2,080,000	補文部科学省委
肺の血小板産生による血小板機能の不均一性の解明	古和田 周吾	内科学講座血液腫瘍内科分野	1,300,000	補文部科学省委
肥満症の治療と健康寿命の延伸を目指した褐色脂肪細胞機能活性化の試み	石垣 泰	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	1,170,000	補文部科学省委
質量分析装置を用いた肺がんリンパ節転移診断に関する研究	出口 博之	呼吸器外科学講座	650,000	補文部科学省委
ctDNAを用いた大腸癌化学療法効果判定法と転移巣切除適応症例層別化の確立	八重樫 瑞典	外科学講座	1,430,000	補文部科学省委
DLCの医療応用拡大に必要な各種DLC吸着タンパクのプロテオーム分析	迫田 直也	心臓血管外科学講座	130,000	補文部科学省委
くも膜下出血患者の高次脳機能障害を活性化ミクログリアの視点から考察する	久保 慶高	脳神経外科学講座	1,040,000	補文部科学省委
受容体PET画像radiomics解析によるDBS術後統合失調症の精神症状の予知	西川 泰正	脳神経外科学講座	1,690,000	補文部科学省委
膀胱癌の再発診断における血漿および尿沈渣中変異DNAモニタリング	露久保 敬嗣	泌尿器科学講座	1,040,000	補文部科学省委

腎癌における新規癌特異分子PRELID2の酸化ストレス制御機構の解明と治療開発	加藤 廉平	泌尿器科学講座	1,300,000	補文部科学省委
子宮癌肉腫に対する免疫逃避改善を誘導するウイルス療法の開発	利部 正裕	産婦人科学講座	1,040,000	補文部科学省委
全国調査による頸動脈小体腫瘍の遺伝子変異の全貌解明と治療ガイドライン作成	片桐 克則	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	1,040,000	補文部科学省委
Off-frequencyノイズオージオメトリによる聴覚求心路障害診断法の開発	平海 晴一	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	449,714	補文部科学省委
口腔機能運動によって変動するヒト生体脳の神経代謝物質の可視化	小林 琢也	補綴・インプラント学講座摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野	520,000	補文部科学省委
がん微小環境における腫瘍免疫破綻因子としての口腔細菌ジペプチダーゼ	鈴木 舟	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	1,300,000	補文部科学省委
ラティス構造の人工骨により自家骨移植なしで挑むハイブリッド型顎骨再建法の開発	山田 浩之	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	520,000	補文部科学省委
マナマコ含有ゼリーの継続摂取による口臭抑制効果	岸 光男	口腔医学講座予防歯科学分野	910,000	補文部科学省委
在宅看護でのオーラルリテラシーを向上させる新たな口腔衛生教育ツール開発	橋口 大輔	口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野	1,430,000	補文部科学省委
CKD重症化予防のエビデンス診療ギャップ克服に向けた行動科学的アプローチの探索	旭 浩一	内科学講座腎・高血圧内科分野	1,170,000	補文部科学省委
高度肥満患者の細菌叢変化とマルチオミックス解析による肝線維化メカニズムの探索	梅邑 晃	外科学講座	1,300,000	補文部科学省委
超小型多軸触圧センサを活用した在宅で使える簡易型とろみ度測定器の開発	齊藤 桂子	口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野	1,300,000	補文部科学省委
大腸癌におけるTP53遺伝子変異解析の免疫組織化学的解析による代替可能性の検討	刑部 光正	病理診断学講座	2,340,000	補文部科学省委

パーキンソン病の非構造化データを用いたサブタイプ自動検出に関する研究	前田 哲也	内科学講座脳神経内科・老年科分野	2,210,000	補文部科学省 委
光干渉断層法画像による深層学習を用いた冠動脈石灰化病変の治療支援ソフト開発	石田 大	内科学講座循環器内科分野	1,690,000	補文部科学省 委
リジン尿性蛋白不耐症のQOL改善を目指した中枢神経障害への治療法確立の試み	柿坂 啓介	内科学講座消化器内科分野	2,860,000	補文部科学省 委
プロテオーム解析による、重症気管支肺異形成を予測する新規バイオマーカーの同定	外館 玄一朗	小児科学講座	1,300,000	補文部科学省 委
関節リウマチ合併肺線維症の病態形成に関する基盤研究	山下 雅大	内科学講座呼吸器内科分野	1,872,000	補文部科学省 委
動物個体の発生原理を利用した、異種間肝臓作製技術の確立	鈴木 悠地	内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	1,690,000	補文部科学省 委
ctDNA解析によるUR-LA脾癌 Conversion Surgery適応症例の層別化と治療効果判定の確立	片桐 弘勝	外科学講座	1,950,000	補文部科学省 委
次世代シーケンサーによる全ゲノム解析を用いたTAPVC発生の原因解析	辻 龍典	心臓血管外科学講座	65,000	補文部科学省 委
ポストコンディショニングによる下肢虚血再還流障害軽減に関する研究	金 一	心臓血管外科学講座	1,170,000	補文部科学省 委
卵巣明細胞癌に対するHSF1経路を標的とした新規治療法の開発	板持 広明	臨床腫瘍学講座	2,340,000	補文部科学省 委
耳管の可視化に注目した中耳疾患メカニズムの解明	池田 恵吉	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	2,990,000	補文部科学省 委
網膜変性におけるオートファジーの役割の解析	橋爪 公平	眼科学講座	1,820,000	補文部科学省 委
ラティス構造を用いたチタンプラズマ溶射コバルトクロム合金製人工下顎骨の開発	星 熱	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	1,950,000	補文部科学省 委

地域枠等奨学金養成医師は地域医療従事により地域医療志向性が芽生えるのか?	下沖 収	総合診療医学講座	1,170,000	補委 文部科学省
慢性腎臓病発症・進展の先天的残余リスクに関する遺伝統計学的検討	吉川 和寛	内科学講座腎・高血圧内科分野	1,820,000	補委 文部科学省
質量分析を用いた界面活性剤の代謝物および代謝経路の特定	藤田 友嗣	救急・災害医学講座	1,820,000	補委 文部科学省
肥満非アルコール性脂肪性肝炎に対する外科治療の改善機序と新規バイオマーカーの検索	佐々木 章	外科学講座	1,560,000	補委 文部科学省
特発性炎症性筋疾患における新規自己抗体の検出および臨床応用	細野 祐司	内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	1,040,000	補委 文部科学省
抗レトロウィルス薬のドラッグリバーパシングによるLINE1発現子宮体癌の治療戦略	佐藤 翔	産婦人科学講座	910,000	補委 文部科学省
抗炎症性マクロファージと間葉系幹細胞を併用した歯周病関連アテローム硬化症治療戦略	滝沢 尚希	歯科保存学講座歯周療法学分野	1,300,000	補委 文部科学省
各種清掃デバイス、MSC、サイトカインを用いたインプラント周囲炎の治療法の確立	横田 潤	補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野	910,000	補委 文部科学省
小中学校のインフルエンザ対策の検証:病院感染対策の導入効果	小野寺 直人	臨床検査医学・感染症学講座	130,000	補委 文部科学省
学童期・思春期にある小児がん患者の精神的健康はいかにして入院早期から増進できるか	伊藤 由香	小児科学講座	260,000	補委 文部科学省
IADL評価の乖離とMCIの予後に関する前向き観察研究	赤坂 博	内科学講座脳神経内科・老年科分野	130,000	補委 文部科学省
大腸粘膜下層浸潤癌におけるmicro RNA網羅的解析	永塚 真	内科学講座消化器内科分野	260,000	補委 文部科学省
前立腺癌画像誘導放射線治療における低侵襲マーカーの開発	瀬川 昂史	放射線腫瘍学科	1,300,000	補委 文部科学省

胆管増生に伴う血管形成機構解明による肝不全の治療標的の同定	佐々木 登希夫	内科学講座消化器内科分野	1,300,000	補委 文部科学省
歯根形成関連因子Chd3の応用によるインプラント周囲への歯周組織類似構造の獲得	野尻 俊樹	補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野	1,040,000	補委 文部科学省
自家架橋したヒアルロン酸に成長因子を配合した生体材料の創製と治療効果の基礎的評価	畠山 航	補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野	520,000	補委 文部科学省
EMT関連転写因子の新規活性化分子の同定とその口腔粘膜上皮悪性化マーカーへの応用	平野 大輔	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	1,170,000	補委 文部科学省
骨再生効果を増強した組み替え成長因子による低侵襲性骨再生方法の開発	菊池 恵美子	口腔保健育成学講座歯科矯正学分野	1,040,000	補委 文部科学省
DAMPs起因性変形性顎関節症における無菌性炎症の発症機構を解明する研究	松本 譲野	口腔保健育成学講座歯科矯正学分野	1,170,000	補委 文部科学省
ポンディング障害を呈する産褥婦の頭部MR撮像による白質纖維走行変化の検証	本多 笑奈	神経精神科学講座	910,000	補委 文部科学省
超高磁場CSF flow評価法を用いた慢性虚血認知機能改善メカニズムの解明	攝田 典悟	脳神経外科学講座	1,690,000	補委 文部科学省
リジン尿性蛋白不耐症:細胞内アミノ酸不均衡を標的とした新規治療法確立を目指して	佐藤 琢郎	内科学講座消化器内科分野	1,040,000	補委 文部科学省
リンパ管シンチグラフィーによる心不全におけるリンパ機能の定性化	那須 崇人	内科学講座循環器内科分野	2,080,000	補委 文部科学省
機械的血栓回収による急性脳虚血再灌流がヒト脳組織に与える神経障害メカニズムの解明	南波 孝昌	脳神経外科学講座	1,560,000	補委 文部科学省
膀胱がんにおける腫瘍微小環境の免疫プロファイリング研究	五十嵐 大樹	泌尿器科学講座	1,950,000	補委 文部科学省
中枢における語音弁別機構の解明	金城 伸祐	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	130,000	補委 文部科学省

歯周病原細菌エキソペプチダーゼによる誤嚥性肺炎病態形成機序の解明	中里 茉那美	歯科保存学講座歯周療法学分野	1,560,000	補委 文部科学省
磁化率強調画像と光干渉断層法を用いた脳動脈瘤壁鉄沈着と菲薄化の関連の解明	吉田 純	脳神経外科学講座	2,080,000	補委 文部科学省
片頭痛患者における脳内水循環代謝動態と高次脳機能および心理状態との関連	鎌田 麻美	内科学講座脳神経内科・老年科分野	1,820,000	補委 文部科学省
脳アミノ酸代謝動態による成人もやもや病血行再建術後認知機能改善のメカニズムの解明	藤本 健太郎	脳神経外科学講座	1,950,000	補委 文部科学省
悪性黒色腫の治療抵抗性に対する二重特異性フォスファターゼDUSP4の影響	鎌田 啓文	皮膚科学講座	1,690,000	補委 文部科学省
マウスモデルを用いた造影超音波による転移リンパ節の診断と臨床応用	及川 伸一	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	1,300,000	補委 文部科学省
間葉系幹細胞の抗炎症作用を増強する細胞接着分子を利用した歯周治療への試み	鈴木 啓太	歯科保存学講座歯周療法学分野	1,300,000	補委 文部科学省
フルアーチにおける口腔内スキャナーの位置再現精度の検討	深澤 翔太	補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野	2,210,000	補委 文部科学省
3D大動脈弁モデルによる経カテーテル的大動脈弁留置術前の冠動脈治療シミュレーション	二宮 亮	内科学講座循環器内科分野	2,340,000	補委 文部科学省
エネルギー代謝シフトによる成熟期エナメル芽細胞RA-SAサイクル制御機構の解明	稻葉 陽	口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野	1,430,000	補委 文部科学省
骨形成因子を担持・徐放する自己組織化ナノゲル技術を応用した注入型骨補填材の開発	八戸 勇樹	補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野	1,430,000	補委 文部科学省
岩手県におけるCOVID-19パンデミック前後での消化管出血症例の変遷	松本 主之	内科学講座消化器内科分野	1,000,000	補委 岩手県
岩手県における降圧薬服用者の血圧管理と腎機能の経時的推移との関連に関する検討	旭 浩一	内科学講座腎・高血圧内科分野	1,000,000	補委 岩手県

岩手県における脳神経疾患患者の自動車運転実態と視機能、認知機能および生化学的マーカーに関する研究	前田 哲也	内科学講座脳神経内科・老年科分野	1,000,000	補委	岩手県
持続血糖モニタリングシステムを活用した糖尿病遠隔診療システムの構築	石垣 泰	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	1,000,000	補委	岩手県
岩手県における寒冷凝集素症に関する検討	伊藤 薫樹	内科学講座血液腫瘍内科分野	1,000,000	補委	岩手県
急性冠症候群に対する治療法と院内成績の経時変化:医療圏間の比較検討	森野 穎浩	内科学講座循環器内科分野	1,000,000	補委	岩手県
肥満非アルコール性脂肪性肝炎に対するリピドミクス解析と新規バイオマーカーの検索	佐々木 章	外科学講座	1,000,000	補委	岩手県
頸部頸動脈狭窄症に対する血行再建術による上肢運動機能改善と大脳皮質神経受容体機能変化	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	1,000,000	補委	岩手県
呼気凝集液を用いた岩手県肺がん検診における新規マーカー検索を目指す研究～より簡便かつ精度の高い検診を目指して～	齊藤 元	呼吸器外科学講座	1,000,000	補委	岩手県
岩手県における骨粗鬆症患者の病態評価-骨粗鬆症椎体骨折の病状進行予測因子の検討と治療アルゴリズムの開発を目指して-	土井田 稔	整形外科学講座	1,000,000	補委	岩手県
岩手県における下肢切断症例における血行動態の検討	櫻庭 実	形成外科学講座	1,000,000	補委	岩手県
岩手県内の産婦人科医療において高難度診断・治療技術の格差解消および全国水準までの引き上げを目的とした大学病院および県立病院連携の強化	馬場 長	産婦人科学講座	1,000,000	補委	岩手県
小児造血幹細胞移植患者の合併症と予後改善に寄与する栄養因子解析	赤坂 真奈美	小児科学講座	1,000,000	補委	岩手県
移植腎機能・ドナー腎機能の回復に関する因子の探索と多施設間連携の推進～岩手県全域で取り組む腎移植医療～	小原 航	泌尿器科学講座	1,000,000	補委	岩手県
地域精神保健医療におけるドローン技術等の遠隔支援の基礎的応用のパイロット研究	大塚 耕太郎	神経精神科学講座	1,000,000	補委	岩手県

岩手県における遠隔放射線治療システムの構築	吉岡 邦浩	放射線医学講座	1,000,000	補委	岩手県
全身麻酔中の筋弛緩モニター使用による麻酔管理上の安全性と経済効果に関する研究	鈴木 健二	麻酔学講座	1,000,000	補委	岩手県
遠隔テレビ会議システムと遠隔病理診断システムを用いた全県にわたる病病連携体制の新たな活用－岩手モデルの維持と更なる発展を目指して－	柳川 直樹	病理診断学講座	1,000,000	補委	岩手県
青森県量子科学センター委託研究	小林 正和	脳神経外科学講座	2,999,880	補委	青森県
自転車等機械振興事業	熊谷 美保	口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野	5,000,000	補委	公益財団法人JKA
自転車等機械振興事業	山田 浩之	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	5,000,000	補委	公益財団法人JKA
革新的がん医療実用化研究事業	仲 哲治	内科学講座 リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	83,590,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計7件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

合計123件

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	著者有する 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Abe H, Endo K, Kuroda H, et al.	内科学講座消化器内科分野	Immune checkpoint inhibitor-associated colitis in unresectable hepatocellular carcinoma: two cases of early onset after treatment with durvalumab plus tremelimumab	Clin J Gastroenterol. 2024 Apr;17(2):307-310.	Case report
2	Eizuka M, Toya Y, Akasaka R, et al.	内科学講座消化器内科分野	A case of a stuck mesh in the rectum after pelvic surgery	DEN Open. 2023 Sep (オンライン)	Case report
3	Eizuka M, Toya Y, Kosaka T, et al.	内科学講座消化器内科分野	Attenuated Familial Adenomatous Polyposis	Intern Med. 2023 Sep (オンライン)	Case report
4	Hirai M, Yanai S, Kunisaki R, et al.	内科学講座消化器内科分野	Effectiveness of endoscopic resection for colorectal neoplasms in ulcerative colitis: a multicenter registration study	Gastrointest Endosc. 2023 Nov;98(5):806-812.	Original Article
5	Kakisaka K, Kuroda H, Abe T, et al.	内科学講座消化器内科分野	Coincidental items in the definition of metabolic dysfunction-associated fatty liver are useful in identifying patients having significant fibrosis with fatty liver	Hepatol Res. 2023 Sep;53(9):857-865.	Original Article
6	Kikuchi A, Toya Y, Fujino Y, et al.	内科学講座消化器内科分野	Endoscopic submucosal dissection with red dichromatic imaging for esophageal squamous cell carcinoma after endoscopic variceal sclerotherapy	Endoscopy. 2023 Dec;55(S 01):E120-E121.	Case report
7	Kishimoto K, Kakisaka K, Abe T, et al.	内科学講座消化器内科分野	A Case of Autoimmune Hepatitis Complicated by Undiagnosed Factor VII Deficiency: A Pitfall of Coagulopathy	Intern Med. 2023 Nov (オンライン)	Case report
8	Kuroda H, Oguri T, Kamiyama N, et al.	内科学講座消化器内科分野	Multivariable Quantitative US Parameters for Assessing Hepatic Steatosis	Radiology. 2023 Oct (オンライン)	Original Article
9	Matsumoto T, Imai K, Goda Y, et al.	内科学講座消化器内科分野	Questionnaire Survey for Inflammatory Bowel Disease Patients in Japan; A Web-Based Japan, Crohn's Disease, Ulcerative Colitis, Patients Survey	Crohns Colitis 360. 2023 Nov (オンライン)	Original Article
10	Matsumoto T, Umeno J, Jimbo K, et al.	内科学講座消化器内科分野	Clinical Guidelines for Diagnosis and Management of Juvenile Polyposis Syndrome in Children and Adults-Secondary Publication	J Anus Rectum Colon. 2023 Apr (オンライン)	Review
11	Miyasaka A, Yoshida Y, Suzuki A, et al.	内科学講座消化器内科分野	Current elimination status of hepatitis C virus-infected maintenance hemodialysis patients in Iwate Prefecture, Japan	Ther Apher Dial. 2023 Oct;27(5):848-854.	Original Article
12	Toya Y, Endo M, Sugai T, et al.	内科学講座消化器内科分野	Current status and perspectives for endoscopic diagnosis of superficial nonampullary duodenal epithelial tumors	Dig Endosc. 2023 Jul;35(5):574-583.	Review
13	Toya Y, Hatta W, Shimada T, et al.	内科学講座消化器内科分野	Clinical outcomes of endoscopic submucosal dissection for esophageal squamous cell carcinoma with esophageal varices: Multicenter retrospective study	Dig Endosc. 2024 Mar;36(3):314-322.	Original Article
14	Toya Y, Shimada T, Hamada K, et al.	内科学講座消化器内科分野	Prediction model of 3-year survival after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in elderly patients aged ≥85 years: EGC-2 model	J Cancer Res Clin Oncol. 2023 Apr;149(4):1521-1530.	Original Article
15	Watanabe T, Suzuki Y, Kuroda H, et al.	内科学講座消化器内科分野	Circulating Cell-Free DNA as a Biomarker for Prognosis and Response to Systemic Therapy in Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma	Oncology. 2023;101(11):714-722.	Original Article
16	Yamazato M, Yanai S, Oizumi T, et al.	内科学講座消化器内科分野	Appropriate leucine-rich $\alpha$ -2 glycoprotein cut-off value for Japanese patients with ulcerative colitis	World J Clin Cases. 2023 Nov 16;11(32):7753-7760.	Original Article
17	Yoshida Y, Ito A, Eto H, et al.	内科学講座消化器内科分野	Seroprevalence and incidence of hepatitis E virus infection in the general population of Iwate prefecture, Japan: A retrospective cohort study	Hepatol Res. 2024 Jan;54(1):24-31.	Original Article
18	Gonai T, Toya Y, Kudara N, et al.	内科学講座消化器内科分野	Is bowel preparation necessary for early colonoscopy in patients with suspected colonic diverticular bleeding?: A multicenter retrospective study with propensity score matching analysis	DEN Open. 2023 Nov (オンライン)	Original Article
19	Kawasaki K, Torisu T, Esaki M, et al.	内科学講座消化器内科分野	Continuous use of antithrombotic medications during peri-endoscopic submucosal dissection period for colorectal lesions: A propensity score matched study	J Gastroenterol Hepatol. 2023 Jun;38(6):955-961.	Original Article
20	Hasegawa Y, Takahashi Y, Nagasawa K, et al.	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	Japanese 17q12 Deletion Syndrome with Complex Clinical Manifestations	Intern Med. 2024 Mar (オンライン)	Case report
21	Ishigaki Y, Hirase T, Pathadka S, et al.	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	Prevalence of Metabolic Syndrome in Patients with Type 2 Diabetes in Japan: A Retrospective Cross-Sectional Study	Diabetes Ther. 2024 Jan (オンライン)	Original Article

22	Onodera K, Hasegawa Y, Yokota N, et al.	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	A newly identified compound activating UCP1 inhibits obesity and its related metabolic disorders	Obesity (Silver Spring). 2024 Feb;32(2):324-338.	Original Article
23	Takahashi Y, Hasegawa Y, Kinno H, et al.	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	Val66Met single nucleotide polymorphism in brain-derived neurotrophic factor and physical activity might influence responsiveness to dipeptidyl peptidase-4 inhibitors in type 2 diabetes	岩手医学雑誌 2023 Oct;75(4):147-158	Original Article
24	Takebe N, Hasegawa Y, Matsushita Y, et al.	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	Association of plasminogen activator inhibitor-1 and fibroblast growth factor 21 in 3 groups of type 2 diabetes: Without overweight/obesity, free of insulin resistance, and without hepatosteatosis	Medicine (Baltimore). 2023 Sep (オンライン)	Original Article
25	Cho N, Nakajima Y, Kubo S, et al.	内科学講座循環器内科分野	Comparison of left atrial appendage measurements between conventional transesophageal echocardiography and Virtual TEE reconstructed from computed tomography for pre-procedural planning of device closure	Heart Vessels. 2024 Jun;39(6):539-548.	Original Article
26	Hitomi S, Koeda Y, Tosaka K, et al.	内科学講座循環器内科分野	An In-depth Single-center Retrospective Assessment of In-Hospital Outcomes in Acute Myocardial Infarction Patients with and without Diabetes	Intern Med. 2024 Feb (オンライン)	Original Article
27	Kimura T, Koeda Y, Ishida M, et al.	内科学講座循環器内科分野	Safety and feasibility of intravascular ultrasound-guided robotic percutaneous coronary intervention	Coron Artery Dis. 2023 Nov 1;34(7):463-469.	Original Article
28	Koeda Y, Sasaki T, Numahata W, et al.	内科学講座循環器内科分野	A case of robotic-assisted percutaneous coronary intervention using a coronary intravascular lithotripsy catheter	Cardiovasc Interv Ther. 2023 Oct;38(4):429-430.	Case report
29	Kondo Y, Ishida M, Ishisone T, et al.	内科学講座循環器内科分野	Detailed Lipid Profiles and Lipid-related Residual Risk after 12-week 10 mg Rosuvastatin Treatment for Acute Myocardial Infarction	Intern Med. 2024 Mar (オンライン)	Original Article
30	Nakajima Y, Ninomiya R, Kumagai A, et al.	内科学講座循環器内科分野	Transcatheter mitral valve edge-to-edge repair in a patient with complete situs inversus	Cardiovasc Interv Ther. 2023 Jul;38(3):362-363.	Case report
31	Numazaki H, Nasu T, Satoh M, et al.	内科学講座循環器内科分野	Association between vascular endothelial dysfunction and stroke incidence in the general Japanese population: Results from the tohoku medical megabank community-based cohort study	Int J Cardiol Cardiovasc Risk Prev. 2023 Sep (オンライン)	Original Article
32	Sasaki K, Koeda Y, Yoshizawa R, et al.	内科学講座循環器内科分野	Comparing In-Hospital Outcomes for Acute Myocardial Infarction Patients in High-Volume Hospitals Performing Primary Percutaneous Coronary Intervention vs. Regional General Hospitals	Circ J. 2023 Sep (オンライン)	Original Article
33	Sato S, Ninomiya R, Tosaka K, et al.	内科学講座循環器内科分野	Risk of Coronary Occlusion Due to Sinus Sequestration by Redo Transcatheter Aortic Valve Implantation in Japanese Patients With SAPIEN 3	Circ Rep. 2023 Apr (オンライン)	Original Article
34	Yoshizawa R, Sasaki H, Urushikubo T, et al.	内科学講座循環器内科分野	Occlusion and catheter ablation using a large-size cryoballoon for various pulmonary veins: a case series	Eur Heart J Case Rep. 2023 Nov (オンライン)	Case report
35	Oshikiri Y, Ishida M, Sakamoto R, et al.	内科学講座循環器内科分野	Evaluation of the thickness of coronary calcium by 60-MHz intravascular ultrasound: head-to-head comparison with optical frequency domain imaging	Int J Cardiovasc Imaging. 2023 Dec;39(12):2599-2607.	Original Article
36	Nasu T, Matsumoto S, Fujimoto W, et al.	内科学講座循環器内科分野	The safety and efficacy of compression therapy in patients with stable heart failure	Int J Cardiol Heart Vasc. 2024 Jan (オンライン)	Original Article
37	Nasu T, Ninomiya R, Koeda Y, et al.	内科学講座循環器内科分野	Impella device in fulminant myocarditis: Japanese Registry for Percutaneous Ventricular Assist Device (J-PVAD) registry analysis on outcomes and adverse events	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care. 2024 Mar 11;13(3):275-283.	Original Article
38	Itoh T.	内科学講座循環器内科分野	Just Because the Acute Myocardial Infarction Patient Is Simply Elderly, or Is There Something Else? - We Need to Acknowledge Sex Differences	Circ J. 2023 Nov (オンライン)	Others
39	Tosaka K, Ninomiya R, Fusazaki T, et al.	内科学講座循環器内科分野	Infolding of Evolut PRO+ during transcatheter aortic valve implantation and bailout by post-balloon dilation: A case report	J Cardiol Cases. 2024 Feb (オンライン)	Case report
40	Cho K, Saikawa H, Hashimoto T, et al.	内科学講座呼吸器内科分野	A randomized trial to evaluate the preventive effect of lafutidine on chemotherapy-induced peripheral neuropathy in patients treated with carboplatin and paclitaxel for lung cancer	Ann Palliat Med. 2023 Nov;12(6):1136-1145.	Original Article
41	Hashimoto T, Owada Y, Katagiri H, et al.	内科学講座呼吸器内科分野	Characteristics and prognostic analysis of patients with detected KRAS mutations in resected lung adenocarcinomas by peptide nucleic acid-locked nucleic acid polymerase chain reaction (PNA-LNA PCR) clamp method	Transl Lung Cancer Res. 2023 Sep (オンライン)	Original Article
42	Nagashima H, Abe K, Owada Y, et al.	内科学講座呼吸器内科分野	A Case of Mediastinal Tuberculous Lymphadenitis in a Chronic Dialysis Patient Diagnosed by Endobronchial Ultrasound-Guided Transbronchial Needle Aspiration (EBUS-TBNA)	Medicina (Kaunas). 2023 Mar 29;59(4):677.	Case report
43	Onodera R, Chiba S, Nihei S, et al.	内科学講座呼吸器内科分野	High level of C-reactive protein as a predictive factor for immune-related adverse events of immune checkpoint inhibitors in non-small cell lung cancer: a retrospective study	J Thorac Dis. 2023 Aug 31;15(8):4237-4247.	Original Article
44	Nagashima H, Chiba S, Oura S, et al.	内科学講座呼吸器内科分野	Analysis of Serum Antibody Level after COVID-19 Vaccine and Side Effects after Vaccine	Advances in Infectious Diseases 2023 Jun (オンライン)	Original Article
45	Nagashima H, Tanno K, Sakata K, et al.	内科学講座呼吸器内科分野	Effects of the 23-Valent Pneumococcal Polysaccharide Vaccine on the Mortality of Pneumonia among Elderly over 70 Years Old after the Great East Japan Earthquake-PPV Vaccination Program in Iwate Prefecture, Japan	Advances in Infectious Diseases 2023 Jun (オンライン)	Original Article

46	Kowata S, Seki Y, Tsukushi Y, et al.	内科学講座血液腫瘍内科分野	Association of CD8+T cells expressing nivolumab-free PD-1 with clinical status in a patient with relapsed refractory classical Hodgkin lymphoma	Int J Hematol. 2023 Dec;118(6):751-757.	Original Article
47	Sato T, Maeta T, Ito S.	内科学講座血液腫瘍内科分野	Dimethyl Fumarate Suppresses the Proliferation of HTLV-1-infected T Cells by Inhibiting CBM Complex-triggered NF- $\kappa$ B Signaling	Anticancer Res. 2023 May;43(5):1901-1908.	Original Article
48	Kiyokawa T, Oura K, Chiba T, et al.	内科学講座脳神経内科・老年科分野	Comparison of superb microvascular imaging and contrast-enhanced ultrasonography for evaluation of intraplaque neovascularization in carotid arteries	岩手医学雑誌 2023 Dec;75(5):169-180	Original Article
49	Maeda T, Kimura T, Sugiyama K, et al.	内科学講座脳神経内科・老年科分野	Randomized controlled trial of KW-6356 monotherapy in patients with early untreated Parkinson's disease	Parkinsonism Relat Disord. 2023 Dec;117:105907.	Original Article
50	Oura K, Akasaka H, Ishizuka N, et al.	内科学講座脳神経内科・老年科分野	Ultrasound evaluation of vagus nerve cross-sectional area in a community-dwelling elderly Japanese cohort	PLoS One. 2023 May (オンライン)	Original Article
51	Oura K, Yamaguchi T, Nozaki R, et al.	内科学講座脳神経内科・老年科分野	Vagus Nerve Ultrasonography Helps Distinguish Multiple System Atrophy from Other Parkinsonian Syndromes	Mov Disord Clin Pract. 2023 Aug 25;10(10):1525-1529.	Original Article
52	Terauchi T, Mizuno M, Suzuki M, et al.	内科学講座脳神経内科・老年科分野	Clinical features of sleep apnea syndrome and cognitive impairment in multiple sclerosis	Mult Scler Relat Disord. 2024 Feb;82:105407.	Original Article
53	Takahashi M, Nanatsue K, Itaya S, et al.	内科学講座脳神経内科・老年科分野	Usefulness of thermography for differentiating Wallenberg's syndrome from noncentral vertigo in the acute phase	Neurol Res. 2024 May;46(5):391-397.	Original Article
54	Akiyama Y, Katai H, Kitabayashi R, et al.	外科学講座	Frequency of lymph node metastasis according to tumor location in clinical T1 early gastric cancer: supplementary analysis of the Japan Clinical Oncology Group study (JCOG0912)	J Gastroenterol. 2023 Jun;58(6):519-526.	Original Article
55	Ando T, Nitta H, Umemura A, et al.	外科学講座	Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Encapsulated by a Tumor-Forming Type 1 Autoimmune Pancreatitis Located at the Pancreatic Tail: A Case Report	Case Rep Gastroenterol. 2024 Mar 27;18(1):181-188.	Case report
56	Baba S, Sasaki A, Kimura Y.	外科学講座	Successfully Completed Laparoscopic Splenectomy for Young Woman With Immune Thrombocytopenic Purpura During Pregnancy in Reduced Port Surgery: A Case Study	Int Surg. 2024;107(3):114-119	Case report
57	Katagiri H, Nitta H, Kanno S, et al.	外科学講座	Safety and Feasibility of Laparoscopic Parenchymal-Sparing Hepatectomy for Lesions with Proximity to Major Vessels in Posterosuperior Liver Segments 7 and 8	Cancers (Basel). 2023 Mar (オンライン)	Original Article
58	Kikuchi K, Nitta H, Umemura A, et al.	外科学講座	Risk-Adjusted Assessment of the Learning Curve for Pure Laparoscopic Donor Hepatectomy for Adult Recipients	World J Surg. 2023 Oct;47(10):2488-2498.	Original Article
59	Kobayashi M, Hirai M, Suzuki M, et al.	外科学講座	Tracheostomy for the pediatric patient with fibrodysplasia ossificans progressiva: a case report	Surg Case Rep. 2024 Mar (オンライン)	Case report
60	Kobayashi M, Suzuki M, Toya Y, et al.	外科学講座	Oral synechia with complete obstruction of the oral cavity and laryngopharynx	Pediatr Int. 2023 Jan-Dec (オンライン)	Case report
61	Kumagai H, Sasaki A, Umemura A, et al.	外科学講座	Effects of laparoscopic sleeve gastrectomy on nonalcoholic fatty liver disease and TGF- $\beta$ signaling pathway	Endocr J. 2024 Feb (オンライン)	Original Article
62	Kumagai H, Umemura A, Nitta H, et al.	外科学講座	Extensively Invasive Gallbladder Cancer from Intracholecystic Papillary Neoplasm Treated with Pylorus-Preserving Pancreaticoduodenectomy and Extended Cholecystectomy: A Case Report and Literature Review	Case Rep Surg. 2023 Jun 24;2023:5825045. doi: 10.1155/2023/5825045. eCollection 2023.	Case report
63	Umemura A, Nitta H, Katagiri H, et al.	外科学講座	Standardization of pure laparoscopic extended cholecystectomy with en-bloc lymphadenectomy of the hepatoduodenal ligament for gallbladder cancers	Asian J Endosc Surg. 2023 Jul (オンライン)	Original Article
64	Umemura A, Sasaki A, Takamura T, et al.	外科学講座	Relationship between the changes in hepatokine levels and metabolic effects after laparoscopic sleeve gastrectomy in severely obese patients	Surg Today. 2024 Jun;54(6):581-590.	Original Article
65	Umemura A, Sasaki A.	外科学講座	Invited commentary: The outcome of closure of inguinal hernia with laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure in young adults	World J Surg. 2024 Feb;48(2):377-378.	Review
66	Vanari S, Sasaki S, Sato H, et al.	外科学講座	Potentially Lethal Combination of Fruit and Gastric Acid: The Persimmon Bezoar Causing Esophageal Rupture	Am J Gastroenterol. 2023 Nov 1;118(11):1918.	Case report
67	Umemura A, Sasaki A, Fujiwara H, et al.	外科学講座	Comparison of olafoxidine versus povidone-iodine as a preoperative antiseptic for reducing surgical site infection in both scheduled and emergency gastrointestinal surgeries: A single-center randomized clinical trial	Ann Gastroenterol Surg. 2023 Apr (オンライン)	Original Article
68	Kikuchi K, Ogawa M, Sasaki A.	外科学講座	Radiological complete response with regorafenib for multiple lung metastases of ascending colon cancer: a case report	J Med Case Rep. 2024 Feb 7;18(1):45.	Original Article

69	Ariyoshi Y, Otsuka K, Yaegashi M, et al.	外科学講座	A novel difficulty scoring system for laparoscopic colorectal cancer surgery for appropriate case selection according to master	岩手医学雑誌 2023 Aug;75(3):81–94	Original Article
70	Sasaki T, Yaegashi M, Sasaki A, et al.	外科学講座	The clinical validity of digital PCR based circulating tumor DNA monitoring in patients with colorectal cancer who received adjuvant chemotherapy	岩手医学雑誌 2023 Aug ;75(3):95–107	Original Article
71	Tagane M, Akiyama Y, Tamura A, et al.	外科学講座	Examination of fatty infiltration of skeletal muscles by CT value in the evaluation of sarcopenia during preoperative chemotherapy for esophageal cancer	岩手医学雑誌 2023 Apr;75(1):21–33	Original Article
72	Oshida S, Yokosawa T, Araya S, et al.	脳神経外科学講座	Subarachnoid Hemorrhage Confirmed by Magnetic Resonance Imaging in a Patient with Brain Death owing to Hypoxic Encephalopathy Following Suicide by Hanging	NMC Case Rep J. 2024 Mar (オンライン)	Case report
73	Igarashi S, Chida K, Matsuda T, et al.	脳神経外科学講座	Assessment of magnetic field interactions and heating for cerebral aneurysm flow diverters during 7T MRI	Neuroradiology. 2023 Dec (オンライン)	Original Article
74	Ogasawara K, Akamatsu Y, Chida K, et al.	脳神経外科学講座	Influence of atherosclerotic burden on adult patients with ischemic moyamoya disease: combined analysis of two prospective cohorts	Neurol Res. 2023 Nov;45(11):1011–1018.	Original Article
75	Oshida S, Tsuboi J, Kin H, et al.	脳神経外科学講座	Symptomatic subdural hemorrhage following heart valve surgery: a retrospective cohort study	J Neurosurg. 2023 Feb 10;139(3):741–747.	Original Article
76	Yamazaki R, Akamatsu Y, Yoshida J, et al.	脳神経外科学講座	Association between preoperative white matter hyperintensities and postoperative new ischemic lesions on magnetic resonance imaging in patients with cognitive decline after carotid endarterectomy	Neurosurg Rev. 2024 Feb 21;47(1):91.	Original Article
77	Oshida S, Saura H, Akamatsu Y, et al.	脳神経外科学講座	Delayed blink R1 latency in a patient with trigeminal neuralgia due to a contralateral vestibular schwannoma: An illustrative case	Surg Neurol Int. 2023 Aug (オンライン)	Case report
78	Ogasawara K, Takahashi T, Igarashi S, et al.	脳神経外科学講座	Effect of the addition of <sup>(123)I</sup> -iomazenil single-photon emission computed tomography to brain perfusion single-photon emission computed tomography on the detection accuracy of misery perfusion in adult patients with ischemic moyamoya disease	Ann Nucl Med. 2023 May (オンライン)	Original Article
79	Fujimoto K, Chida K, Yoshida J, et al.	脳神経外科学講座	A case of intracerebral hemorrhage due to cerebral hyperperfusion after stenting for acute cervical carotid artery dissection	Radiol Case Rep. 2023 Aug (オンライン)	Case report
80	Akamatsu Y, Kashimura H, Kojima D, et al.	脳神経外科学講座	Correlation Between Low-Density Hematoma at 1-Week Post-Middle Meningeal Artery Embolization and Rapid Resolution of Chronic Subdural Hematoma	World Neurosurg. 2024 Jan (オンライン)	Original Article
81	Yabuki M, Akamatsu Y, Kashimura H, et al.	脳神経外科学講座	Spontaneous middle meningeal arteriovenous fistula without cortical venous reflux presenting with acute subdural hematoma: illustrative case	J Neurosurg Case Lessons. 2023 Aug (オンライン)	Case report
82	Koizumi J, Ikai A, Iwase T, et al.	心臓血管外科学講座	Hepatic-to-azygos vein redirection after a failed bifurcated graft Fontan conversion	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2023 Apr (オンライン)	Case report
83	Yamazaki Shiro, Koizumi Junichi, Saito Daiki, et al.	心臓血管外科学講座	Impact of the Tricuspid Valve Detachment Technique on Hard-to-Expose Ventricular Septal Defect Closure	J Card Surg 2024 Feb;2024	Others
84	Iwai H, Yanagawa N, Deguchi H, et al.	呼吸器外科学講座	Surgical treatment for lung metastasis of inflammatory myofibroblastic tumor of the lung: A case report	Thorac Cancer. 2023 Jun (オンライン)	Case report
85	Shigeeda W, Deguchi H, Tomoyasu M, et al.	呼吸器外科学講座	Optimal period of smoking cessation to reduce the incidence of postoperative pulmonary complications in lung cancer	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2023 Jun (オンライン)	Original Article
86	Yoshimura R, Shigeeda W, Fujita Y, et al.	呼吸器外科学講座	Diagnostic method of mass spectrometry for detecting lymph node metastasis of non-small cell lung cancer	Thorac Cancer. 2024 Jan (オンライン)	Original Article
87	Hayashi K, Tajima G, Oikawa R, et al.	整形外科学講座	Morphology of the proximal tibiofibular joint and ligaments using three-dimensional computed tomography: A cadaveric study	Knee. 2023 Dec;45:27–34.	Original Article
88	Matsuura M, Sato K, Murakami K, et al.	整形外科学講座	Morphology of the Radial Attachment of the Radioulnar Ligament and Surrounding Landmarks	J Hand Surg Am. 2023 Nov;48(11):1114–1121.	Original Article
89	Nakano G, Tajima G, Maruyama M, et al.	整形外科学講座	Morphology of the quadriceps tendon and its patella insertion site on three-dimensional computed tomography and magnetic resonance imaging: A cadaveric study	Knee. 2023 Aug;43:136–143.	Original Article
90	Ohya Y, Tajima G, Maruyama M, et al.	整形外科学講座	The morphological characteristics of the medial patellotibial ligament and its insertion sites using three-dimensional computed tomography: a cadaveric study	岩手医学雑誌 2023 Aug;75(3):109–119	Original Article
91	Sato K, Otake S, Takahashi G, et al.	整形外科学講座	Radiographic study of the distal ulna in rheumatoid arthritis with extensor digitorum communis ruptures	Mod Rheumatol. 2023 Dec 22;34(1):92–96.	Original Article
92	Sato K, Takahashi G, Murakami K.	整形外科学講座	Flexor tendon transfer for focal dystonia with involuntary flexion of the ring finger	J Hand Surg Eur Vol. 2023 Dec;48(11):1225–1226.	Original Article

93	Shimooki Y, Murakami H, Nishida N, et al.	整形外科学講座	Finite Element Modeling for Biomechanical Comparisons of Multilevel Transforaminal, Posterior, and Lateral Lumbar Approaches to Interbody Fusion Augmented with Posterior Instrumentation	World Neurosurg. 2024 Feb (オンライン)	Original Article
94	Yan H, Sato K, Takahashi G, et al.	整形外科学講座	Load Distribution in Dorsally-Angulated Distal Radius Deformity Using Finite Element Analysis	J Hand Surg Am. 2023 Oct;48(10):1062.e1-1062.e6.	Original Article
95	Sone I, Honda T, Sakuraba M, et al.	形成外科学講座	Goltz Syndrome Combined with Triple X Syndrome, a Case Report	Cleft Palate Craniofac J. 2024 Mar;61(3):534-538.	Case report
96	Asai Y, Yanagawa N, Osakabe M, et al.	病理診断学講座	The clinicopathological impact of tumor-associated macrophages in patients with cutaneous malignant melanoma	J Surg Oncol. 2024 Feb;129(2):381-391.	Original Article
97	Miyamoto S, Hirakawa T, Noguchi Y, et al.	産婦人科学講座	Physical Properties of Ultrafine Bubbles Generated Using a Generator System	In Vivo. 2023 Nov-Dec (オンライン)	Original Article
98	Nagasawa T, Shoji T, Takatori E, et al.	産婦人科学講座	A Phase II Study of S-1 plus Oxaliplatin for Patients with Recurrent Non-Squamous Cell Carcinoma of the Uterine Cervix (Tohoku Gynecologic Cancer Unit: TGCU206 Study)	Cancers (Basel). 2023 Oct (オンライン)	Original Article
99	Baba T, Koshiyama M, Kagabu M, et al.	産婦人科学講座	Ovarian serous borderline tumors with recurrent or extraovarian lesions: a Japanese, retrospective, multi-institutional, population-based study	Int J Clin Oncol. 2023 Oct;28(10):1411-1420.	Original Article
100	Saiki H, Saito K, Sato A.	小児科学講座	Reversible complete atrioventricular block in a neonate with maternal anti-Sjogren's syndrome-associated antibody: atypical phenotype of autoimmune congenital heart block	Cardiol Young. 2023 Nov (オンライン)	Case report
101	Takahashi T, Saiki H, Oyama, K.	小児科学講座	Significance of End-Diastolic Forward Flow in Patients With Repaired Tetralogy of Fallot	Circ J. 2023 Dec (オンライン)	Original Article
102	Takahashi T, Saiki H, Sato A, et al.	小児科学講座	Significance of End-Diastolic Forward Flow in Patients With Repaired Tetralogy of Fallot - Its Interaction With the Left Ventricular Property and End Organ Damage	Circ J. 2023 Dec (オンライン)	Original Article
103	Takahashi T, Saiki H, Sato A, et al.	小児科学講座	Abnormal inferior vena cava course mimicking inferior vena cava interruption with azygos continuation in the postoperative patient with omphalocele	J Echocardiogr. 2023 Dec (オンライン)	Case report
104	Hiraumi H, Oikawa SI, Shiga K, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Systemic cisplatin increases the number of patients showing positive off-frequency masking audiometry	PLoS One. 2023 Jul (オンライン)	Original Article
105	Ikeda R, Ohta S, Yoshioka S, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	A manual of Eustachian tube function tests-illustration of representative test results obtained from healthy subjects and typical disorders with suggestion of the appropriate test method of choice	Auris Nasus Larynx. 2024 Feb;51(1):206-213.	Review
106	Kishima Y, Ikeda R, Kusaka I, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Influence of COVID-19 pandemic on otitis media with effusion in children: A multicenter, retrospective survey in northern Japan	Int J Pediatr Otorhinolaryngol. 2024 Mar;178:111904. doi: 10.1016/j.ijporl.2024.111904. Epub 2024 Feb 29.	Original Article
107	Kusaka I, Ikeda R, Katsura A, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Patulous Eustachian Tube and Otitis Media With Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis (OMAAV)	Cureus. 2024 Feb (オンライン)	Case report
108	Tsuchida K, Shiga K, Katagiri K, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Increasing Patients With HPV-positive Oropharyngeal Squamous Cell Carcinoma and its Oncologic Outcomes in the Rural Region in Northern Japan	Anticancer Res. 2024 Jan;44(1):403-407.	Original Article
109	Kusaka I, Katagiri K, Saito D, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	A case report of angiosarcoma originating from the tongue	Clin Case Rep. 2023 Dec (オンライン)	Case report
110	Inoue T, Watabe D, Tsunemi Y, et al.	皮膚科学講座	Outcome of fosravuconazole treatment for onychomycosis refractory to topical antifungal agents	J Dermatol. 2023 Aug;50(8):1014-1019.	Original Article
111	Kamada H, Arakawa N, Fukui R, et al.	皮膚科学講座	Nemolizumab-induced drug eruption in a 46-year-old male patient with atopic dermatitis	Eur J Dermatol. 2023 Oct 1;33(5):558-559.	Case report
112	Miura S, Tsunoda K, Amano H.	皮膚科学講座	A case of perifolliculitis capitis abscedens et suffodiens and acne conglobata effectively treated with a tumor necrosis factor $\alpha$ inhibitor	Dermatol Reports. 2023 Jun 5;15(3):9699.	Case report
113	Tanji T, Watabe D, Arakawa N, et al.	皮膚科学講座	Dual Interleukin-4/Interleukin-13 Blocker-induced Arthralgia Treated Successfully with Upadacitinib in a Patient with Atopic Dermatitis	Acta Derm Venereol. 2023 Apr (オンライン)	Original Article
114	Watabe D, Tominaga M, Toyama S, et al.	皮膚科学講座	A severe case of primary erythromelalgia presenting as small fiber neuropathy with a novel SCN9A mutation	J Dermatol. 2023 Jul;50(7):938-941.	Original Article
115	Kurokawa M, Ikarashi D, Kato R, et al.	泌尿器科学講座	A case of postoperative pancreatitis in patients with renal cell carcinoma with an inferior vena cava tumor thrombus treated by presurgical lenvatinib plus pembrolizumab	Int Cancer Conf J. 2024 Feb (オンライン)	Case report
116	Abe M, Takata R, Ikarashi D, et al.	泌尿器科学講座	Detection of anterior prostate cancer using a magnetic resonance imaging-transrectal ultrasound fusion biopsy in cases with initial biopsy and history of systematic biopsies	Prostate Int. 2023 Dec;11(4):212-217.	Original Article

117	Goto Y, Abe T, Obara W.	泌尿器科学講座	A case report of successful using interventional radiology with covered stents for a vascular access-related aneurysm	Ther Apher Dial. 2023 Jun;27(3):599–600.	Case report
118	Hisano M, Matsuura T, Koizumi J, et al.	泌尿器科学講座	A case of severe ureteral injury repaired by renal autotransplantation with an iliac vein patch using bovine pericardium	IJU Case Rep. 2024 Jan (オンライン)	Case report
119	Ikarashi D, Kikuchi K, Takahashi K, et al.	泌尿器科学講座	Durable Response After Combination Therapy With Enfortumab Vedotin and Radiotherapy in Metastatic Urothelial Carcinoma: A Report of Two Cases	Cureus. 2023 Dec (オンライン)	Case report
120	Kato R, Naito S, Numakura K, et al.	泌尿器科学講座	Significance of upfront cytoreductive nephrectomy stratified by IMDC risk for metastatic renal cell carcinoma in targeted therapy era – a multi-institutional retrospective study (vol 27, pg 563, 2022)	Int J Clin Oncol. 2023 May;28(5):726–727.	Original Article
121	Kato Y, Akaihata H, Takezawa K, et al.	泌尿器科学講座	Association between nocturnal polyuria and 24-h blood pressure fluctuations in males with lower urinary tract symptoms: A multicenter prospective study	Int J Urol. 2024 Mar (オンライン)	Original Article
122	Machida A, Abe M, Ishii S, et al.	泌尿器科学講座	A case of mid-ureteral stricture with ipsilateral atrophic kidney in a young adult	IJU Case Rep. 2023 Aug (オンライン)	Case report
123	Maekawa S, Takata R, Obara W.	泌尿器科学講座	Molecular Mechanisms of Prostate Cancer Development in the Precision Medicine Era: A Comprehensive Review	Cancers (Basel). 2024 Jan (オンライン)	Review
124	Sekiguchi K, Abe T, Shiomi E, et al.	泌尿器科学講座	Abnormal carnitine metabolism in hemodialysis patients on different anticoagulants	Ther Apher Dial. 2024 Jun;28(3):364–370.	Original Article
125	Shiomi E, Goto Y, Hisano M, et al.	泌尿器科学講座	A case of complete response to avelumab plus axitinib combination therapy for metastatic clear cell renal cell carcinoma in a kidney undergoing dialysis	IJU Case Rep. 2024 Jan (オンライン)	Case report
126	Takahashi K, Kato R, Ikarashi D, et al.	泌尿器科学講座	Avelumab plus axitinib for translocation renal cell carcinoma: A case series and literature review	IJU Case Rep. 2023 Dec (オンライン)	Case report
127	Tamada S, Ikarashi D, Yanagawa N, et al.	泌尿器科学講座	Metastatic bladder cancer forming a sigmoidorectal fistula after enfortumab vedotin therapy: a case report	Front Oncol. 2023 Nov (オンライン)	Case report
128	Tamura D, Abe M, Hiraki H, et al.	泌尿器科学講座	Postoperative recurrence detection using individualized circulating tumor DNA in upper tract urothelial carcinoma	Cancer Sci. 2024 Feb (オンライン)	Original Article
129	Toyoshima M, Ikarashi D, Sekiguchi K, et al.	泌尿器科学講座	Parenchymal renal rupture due to an obstructive ureteric calculus in an incompletely duplicated renal pelvis and ureter	IJU Case Rep. 2024 Jan (オンライン)	Case report
130	Fujishima Y, Furuta A, Kawamura T, et al.	泌尿器科学講座	Two cases of pelvic hematoma after prostatic urethral lift surgery	IJU Case Rep. 2023 Oct (オンライン)	Case report
131	Ikarashi D, Kitano S, Tsuyukubo T, et al.	泌尿器科学講座	Pathological complete response to neoadjuvant chemotherapy may improve antitumor immune response via reduction of regulatory T cells in muscle-invasive bladder cancer	Sci Rep. 2024 Jan (オンライン)	Original Article
132	Sekiguchi K, Abe T, Matsuura T, et al.	泌尿器科学講座	Erythropoietin levels after bilateral nephrectomy for renal cell carcinoma; a case report.	Clin Exp Nephrol. 2024 Jan;28(1):80–81.	Case report
133	Kato K, Suzuki T, Hamano M, et al.	放射線医学講座	Management for iatrogenic femoral pseudoaneurysms by embolisation of the aneurysmal neck from the contralateral femoral artery: A report of five cases	BJR Case Rep. 2023 Oct (オンライン)	Case report
134	Mukaida E, Tamura A, Kato K, et al.	放射線医学講座	Improved Diagnosis of Adjacent Organ Invasion of Extrahepatic Cholangiocarcinoma by Adding Arterial and Delayed Phases	Cureus. 2023 Oct (オンライン)	Original Article
135	Orii M, Sone M, Fujiwara J, et al.	放射線医学講座	A Comparison of Retrospective ECG-Gated CT and Surgical or Angiographical Findings in Acute Aortic Syndrome	Int Heart J. 2023 Sep (オンライン)	Original Article
136	Orii M, Sone M, Osaki T, et al.	放射線医学講座	Super-resolution deep learning reconstruction at coronary computed tomography angiography to evaluate the coronary arteries and in-stent lumen: an initial experience	BMC Med Imaging. 2023 Oct 30;23(1):171.	Original Article
137	Orii M, Sone M, Osaki T, et al.	放射線医学講座	Reliability of respiratory-gated real-time two-dimensional cine incorporating deep learning reconstruction for the assessment of ventricular function in an adult population	Int J Cardiovasc Imaging. 2023 May;39(5):1001–1011.	Original Article
138	Tamura A, Ishida K, Sone M, et al.	放射線医学講座	Evaluation of peripheral enhancement on contrast-enhanced computed tomography and corresponding pathological findings in colorectal liver metastases after preoperative chemotherapy	Pol J Radiol. 2023 May (オンライン)	Original Article
139	Yamaguchi S, Ieko Y, Ariga H, et al.	放射線医学講座	Electron beam detection in radiotherapy using a capacitor dosimeter equipped with a silicon photodiode	Med Biol Eng Comput. 2023 Aug;61(8):2197–2205.	Original Article
140	Shimooki O, Ito N, Hakozaiki M, et al.	総合診療医学講座	A sewing needle in the liver: a case report and literature review	J Surg Case Rep. 2023 Dec (オンライン)	Case report

141	Koike Y, Osakabe M, Sugimoto R, et al.	病理診断学講座	A genome-wide study of gastric intramucosal neoplasia based on somatic copy number alterations, gene mutations, and mRNA expression patterns	J Pathol Clin Res. 2024 Mar (オンライン)	Original Article
142	Shikanai S, Yamada N, Yanagawa N, et al.	病理診断学講座	Prognostic Impact of Tumor-Associated Macrophage-Related Markers in Patients with Adenocarcinoma of the Lung	Ann Surg Oncol. 2023 Nov;30(12):7527-7537.	Original Article
143	Sugai T, Uesugi N, Osakabe M, et al.	病理診断学講座	Characterization of sessile serrated adenomas with dysplasia including intramucosal adenocarcinoma and colorectal carcinoma with a microsatellite instability phenotype	Hum Pathol. 2024 Mar;145:9-15	Original Article
144	Todori M, Yanagawa N, Ito K, et al.	病理診断学講座	Rectal Carcinoma With a Sarcomatoid Component: A Case Report With Detailed Immunohistochemistry, Molecular Analysis, and Literature Review	Int J Surg Pathol. 2023 Dec;31(8):1548-1552.	Case report
145	Yanagawa N, Shikanai S, Sugai M, et al.	病理診断学講座	Prognostic and predictive value of CD163 expression and the CD163/CD68 expression ratio for response to adjuvant chemotherapy in patients with surgically resected lung squamous cell carcinoma	Thorac Cancer. 2023 Julr (オンライン)	Original Article
146	Tokutomi T, Yoshida A, Fukushima A, et al.	臨床遺伝学科	Stakeholder Perception of the Implementation of Genetic Risk Testing for Twelve Multifactorial Diseases	Genes (Basel). 2023 Dec 28;15(1):49.	Original Article
147	Tokutomi T, Yoshida A, Fukushima A, et al.	臨床遺伝学科	The Health History of First-Degree Relatives' Dyslipidemia Can Affect Preferences and Intentions following the Return of Genomic Results for Monogenic Familial Hypercholesterolemia	Genes (Basel). 2024 Mar 21;15(3):384.	Original Article
148	Okamoto M, Tanabe N, Fukazawa S, et al.	歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野	Accuracy of optical interocclusal registration using an intraoral scanner	J Prosthodont Res. 2023 Oct 13;67(4):619-625.	Original Article
149	Takafuji K, Oyamada Y, Hatakeyama W, et al.	歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野	Quantitative analysis of change in bone volume 5 years after sinus floor elevation using plate-shaped bone substitutes: a prospective observational study	Int J Implant Dent. 2024 Feb (オンライン)	Original Article
150	Kawai T, Kawamata S, Suzuki S, et al.	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	Condyle Fracture Fixed with Custom-Made Titanium Mesh and a Miniplate: A Case Report	Am J Case Rep. 2023 Jun (オンライン)	Case report
151	Kawai T, Ogawa A, Hoshi I, et al.	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	Histological evaluation of tissue destruction in mouse tongues caused by cryosurgery	Scars Burn Heal. 2024 Feb 20;10:20595131241230398.	Original Article
152	Komatsu Y, Kawai T, Hirano T, et al.	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	Risk factors of medication-related osteonecrosis of the jaw: A clinical investigation	J Stomatol Oral Maxillofac Surg. 2024 Feb 4;125(6):101791.	Original Article
153	Ohashi Y, Shiga K, Katagiri K, et al.	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	A case of complete remission of Hodgkin lymphoma confirmed histopathologically by neck dissection	Cancer Rep (Hoboken). 2023 Aug (オンライン)	Case report
154	Obara N, Kyakumoto S, Yamaguchi S, et al.	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	Disruption of CADM1-dependent cell-cell adhesion in human oral squamous cell carcinoma cells results in tumor progression, possibly through an increase of MMP-2 and MMP-9 expression	J Oral Biosci. 2024 Mar;66(1):151-159.	Original Article
155	Hirano T, Nakayama A, Yamaya G, et al.	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	A case of adult-onset xanthogranuloma of the tongue	Oral and Maxillofacial Surgery Cases. 2023 Jun (オンライン)	Case report
156	Sato S, Sasaki M, Shimoyama Y, et al.	口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野	Extracellular Tryptophanyl-tRNA Synthetase from Alveolar Epithelial Cells Infected with <i>Staphylococcus aureus</i> and its Inflammatory Response	岩手医科大学歯学雑誌.2023 Aug (オンライン)	Original Article
157	Maesawa S, Yokoyama T, Sakanoue W, et al.	口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野	ADP-mediated Modulation of Intracellular Calcium Responses in Chromaffin Cells: The Role of Ectonucleoside Triphosphate Diphosphohydrolase 2 on Rat Adrenal Medulla Function	J Histochem Cytochem. 2024 Jan;72(1):41-60.	Original Article
158	Sakanoue W, Yokoyama T, Hirakawa M, et al.	口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野	3-Iodothyronamine, a trace amine-associated receptor agonist, regulates intracellular Ca <sup>2+</sup> increases via CaMK II through Epac2 in rat cerebral arterioles	Biomed Res. 2023 (オンライン)	Original Article
159	Fukazawa K, Sawada T, Kuwajima Y, et al.	口腔保健育成学講座歯科矯正学分野	Tensile and shear bond strengths of a stainless steel used in orthodontic brackets bonded to bovine enamel using two types of resin cement	Dent Mater J. 2023 Mar (オンライン)	Original Article
160	Yoshida H, Yokota S, Satoh K, et al.	口腔保健育成学講座歯科矯正学分野	Connective tissue growth factor enhances TGF-β 1-induced osteogenic differentiation via activation of p38 MAPK in mesenchymal stem cells	J Oral Biosci. 2024 Mar;66(1):68-75.	Original Article
161	Ueda A, Tussie C, Kim S, et al.	口腔保健育成学講座歯科矯正学分野	Classification of Maxillofacial Morphology by Artificial Intelligence Using Cephalometric Analysis Measurements	Diagnostics (Basel). 2023 Jun (オンライン)	Original Article
162	Sato Y, Yoshioka K, Watanabe M, et al.	中央放射線部	Characteristics of a dosimeter with a high sensitivity current to voltage amplifier driven by a resistance of 1.0G Ω	岩手医科大学教養教育研究年報 2023 Dec;58:85-90	Original Article
163	Omoto T, Asaka J, Nihei S, et al.	薬剤部	Identifying risk factors for opioid-induced neurotoxicity in cancer patients receiving oxycodone	Support Care Cancer. 2023 Mar 13;31(4):208.	Original Article
164	Nihei S, Ikeda T, Aoki T, et al.	薬剤部	Plasma endothelin-1 may predict bevacizumab-induced proteinuria in patients with colorectal cancer	Cancer Chemother Pharmacol. 2023 May;91(5):427-434.	Original Article

165	Takahashi H, Saito Y, Sugawara K, et al.	薬剤部	Quantitative assessment of skin disorders induced by panitumumab: a prospective observational study	Cancer Chemother Pharmacol. 2024 Apr;93(4):319–328.	Original Article
166	Fujimoto M, Hosono Y, Serada S, et al.	内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	Leucine-rich $\alpha$ 2-glycoprotein as a useful biomarker for evaluating disease activity in rheumatoid arthritis.	Modern Rheumatology. 2024 Aug 20;34(5):1072–1075	Original Article
167	Inoue T, Watabe D, Akasaka K, et al.	皮膚科学講座	Refractory atopic dermatitis in a child with hypomorphic mutation in XIAP gene and low serum IgG	J Dermatol. 2023 Nov;50(11):e363–e365	Case report
168	Watabe D, Amano H.	皮膚科学講座	Unilateral lymphoedema after a second dose of BNT162b2 COVID-19 mRNA vaccine	Eur J Dermatol. 2023 Jun 1;33(3):312–314.	Case report

合計 168件  
小計 4件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合には、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 卷数・該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名・出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367–9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の所属 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文 種別
1					
2					
3					
～					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

計 4件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容  倫理委員会の審査事項、申請区分、開催日、審査方法、承認後の報告、記録の管理及び公開、 申請書受付から審査結果までの流れ等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に  
「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容  「岩手医科大学利益相反マネジメント規程」は、職員等が行う産学官連携活動に伴い発生する利益相反を適切に管理することにより大学及び職員等の社会的信用及び名誉の保持及び社会貢献の推進を図ることを目的としており、利益相反マネジメント委員会の設置、利益相反マネジメントの実施方法等について規定する。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年4回
・ 研修の主な内容	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の改正について、臨床研究における被験者保護の考え方、研究インテグリティ確保と利益相反管理、臨床研究の基礎知識と研究計画書の作成

(注) 前年度の実績を記載すること。

## (様式第4)

### 高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

#### 1 研修の内容

医学部卒後2年間の臨床研修を修了した者を対象に、認定医および専門医等資格取得のための修練を実施している。各領域（科）に定める修練期間が異なるが、概ね次の3通りのパターンを設けており、各々のライフプランに合わせた研修を行う。

各科の研修は、自院のほかに院外（連携）認定施設においても行われ、専門医等取得に向け各領域の定められた症例（数）の臨床経験、論文の執筆・発表および学会参加等、種々の研修を積む。

- ① 臨床研修修了後、専門医取得に向けた専門研修を実施  
(概ね、医学部卒後6年目以降に専門医を取得)
- ② 臨床研修中から社会人大学院へ進学し、博士号の取得と専門研修を並行して実施  
(医学部卒後4年で博士号、6年目以降に専門医を取得)
- ③ 臨床研修修了後、社会人大学院へ進学と同時に専門研修を実施  
(医学部卒後6年で博士号、6年目以降に専門医を取得)

研修プログラムの例として、内科専門研修プログラム（研修期間：3年間）における研修例は以下のとおりである。各領域（科）に定められた所定の研修を修了した後、認定医や専門医試験の合格を経て、その資格を取得することとなる。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月														
1年次	ローテート	内科I（又は内科II）				総合診療	救急	内科II（又は内科I）																			
		月1回～2回のプライマリケア当直（大学で研修の場合は内科の一次二次救急当直）を行う																									
	目標	基幹施設での研修																									
2年次	ローテート	内科I（又は内科II）				内科II（又は内科I）																					
		基幹施設での研修																									
	目標	45疾患群以上を経験し登録 必要な29症例の病歴要約を全て登録																									
3年次	ローテート	選択内科(Subspecialty)や必要な疾患群を経験するための研修																									
		連携施設での研修																									
		70疾患群を経験し200例以上を登録 2年次までに登録された病歴要約の改訂 内科専門医取得のための筆記試験																									

#### 2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	116 人
-------------	-------

（注）前年度の研修医の実績を記入すること。

### 3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
松本 主之	消化器内科	教授	38年	
石垣 泰	糖尿病・代謝・内分泌内科	教授	30年	
旭 浩一	腎・高血圧内科	教授	31年	
森野 祐浩	循環器内科	教授	30年	
川田 一郎	呼吸器内科	教授	25年	
仲 哲治	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	教授	36年	
伊藤 薫樹	血液腫瘍内科	教授	32年	
前田 哲也	脳神経内科・老年科	教授	30年	
佐々木 章	外科	教授	35年	
赤松 洋祐	脳神経外科	教授	18年	
金 一	心臓血管外科	教授	28年	
齊藤 元	呼吸器外科	教授	35年	
土井田 稔	整形外科	教授	39年	
櫻庭 実	形成外科	教授	33年	
馬場 長	産婦人科	教授	25年	
赤坂 真奈美	小児科	教授	30年	
志賀 清人	耳鼻咽喉科頭頸部外科	教授	40年	
黒坂 大次郎	眼科	教授	36年	
天野 博雄	皮膚科	教授	30年	
小原 航	泌尿器科	教授	26年	
大塚 耕太郎	精神神経科	教授	26年	
吉岡 邦浩	放射線診断科	教授	38年	
有賀 久哲	放射線治療科	教授	35年	
鈴木 健二	麻酔科	教授	38年	
眞瀬 智彦	救急科	教授	36年	
仲村 究	臨床検査科	教授	23年	
柳川 直樹	病理診断科	教授	26年	
西村 行秀	リハビリテーション科	教授	27年	
下沖 収	総合診療科	教授	35年	
野田 守	口腔総合診療科	教授	35年	
八重柏 隆	高度先進保存科	教授	40年	
小林 琢也	高度先進補綴科	教授	24年	
小林 琢也	口腔インプラント科	教授	24年	
佐藤 健一	歯科麻酔科	教授	37年	
田中 良一	歯科放射線科	教授	33年	
小林 琢也	小児歯科	教授	24年	
小林 琢也	障がい者歯科	教授	24年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべての

サブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容

○がん医療従事者研修（緩和ケアテレカンファランス、ELNEC-J看護師教育プログラム、がん登録研修会、がんセンターセミナー、合同キャンサーサポート、がん早期診断講演会、がん相談支援センター相談員研修会）

○脳卒中・心臓病等患者を支える医療従事者セミナー

- ・研修の期間・実施回数

令和4年4月～令和5年3月

- ・研修の参加人数

1,514名

（がん医療従事者研修1,414名、脳卒中・心臓病等患者を支える医療従事者セミナー100名）

（注）1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

（注）2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 森野 穎浩
管理担当者氏名	病院事務部長 村山 裕孝 及び 各所属総括課長

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病院総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	診療記録保管室、電子カルテシステムサーバ又は薬剤部記録管理室
		手術記録	診療記録保管室、電子カルテシステムサーバ又は各診療科外来
		看護記録	診療記録保管室又は電子カルテシステムサーバ
		検査所見記録	診療記録保管室、電子カルテシステムサーバ等又は各診療科外来
		エックス線写真	診療記録保管室、放射線システムサーバ又は各診療科外来
		紹介状	診療記録保管室又は電子カルテシステムサーバ
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療記録保管室又は電子カルテシステムサーバ
		従業者数を明らかにする帳簿	人事職員課
		高度の医療の提供の実績	病院企画課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院企画課
		高度の医療の研修の実績	医師卒後臨床研修センター
		閲覧実績	病院企画課
		紹介患者に対する医療提供の実績	病院企画課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院企画課
一規則に第一条の三第十一項に掲げる事項	規則に第一条の三第十一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
	規則に第一条の三第十一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理部

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部、薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療安全管理部、薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部

		保管場所	管理办法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部	・紙又は電子媒体で管理している。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部、薬剤部	
	医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部	
	診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療安全管理部	
	医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部	
	高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部	
	未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部、薬剤部	
	監査委員会の設置状況	医療安全管理部	
	入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部	
	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療福祉相談室	
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	内部監査室、医療安全管理部	
	職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部	
	管理者が有する権限に関する状況	病院企画課	
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	病院企画課	
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	病院企画課	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理办法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 2) 現状
閲覧責任者氏名	病院事務部長 村山 裕孝
閲覧担当者氏名	病院企画課総括課長 古内 高志 病院総務課総括課長 佐々木 隆任 医事課総括課長 小野寺 敬信 人事職員課総括課長 佐々木 寛人
閲覧の求めに応じる場所	諸記録閲覧室
閲覧の手続の概要	
①諸記録閲覧にかかる案内文書を、病院正面玄関に掲示している。 ②諸記録閲覧の求めがあった場合は、諸記録閲覧室にて対応を行う。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	医師 延 0 件
	歯科医師 延 0 件
	国 延 0 件
	地方公共団体 延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

## 規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容 :</li></ul>	
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 基本理念</li><li>2. 医療安全管理に関する基本的な考え方</li><li>3. 医療安全管理における職員の責務</li><li>4. 医療安全管理組織体制の確立</li><li>5. 医療安全管理のための職員の教育・研修</li><li>6. 医療の安全確保を目的とした改善の方策</li><li>7. 医療事故発生時の対応</li><li>8. 医療事故等調査委員会の設置</li><li>9. 患者相談窓口の設置</li><li>10. 患者との情報共有</li><li>11. 内部通報窓口の設置</li><li>12. 医療安全に係る監査委員会</li><li>13. 特定機能病院間の相互立入</li><li>14. 高難度新規医療技術又は未承認新規医薬品等を用いた医療提供</li><li>15. 院内暴力への対応</li></ol>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 設置の有無 ( 有・無 )</li><li>・ 開催状況 : 年 12 回</li><li>・ 活動の主な内容 :</li></ul>	
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療事故、インシデント・重大インシデント、手術部・血管造影室・内視鏡治療オカレンス、死亡事例等の収集、原因調査、分析</li><li>2. 医療安全確保のための改善策の立案、職員への周知</li><li>3. 院内巡視等による改善策の実施状況の評価及び見直し</li><li>4. 医療安全管理のための研修会の企画、立案、実施</li><li>5. 医療安全に関する情報の職員への提供及び注意喚起</li></ol>	

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 25 回
・ 研修の内容（すべて）：	
1. 総合安全対策講習会（本開催1回、eラーニング公開） 医療安全対策、医療関連感染制御、医薬品の安全使用、医療機器の研修、 診療用放射線の安全管理	
2. 医療安全対策講習会（本開催1回、eラーニング公開） 「せん妄について」	
3. 医薬品・医療機器講習会（本開催1回、eラーニング公開） 医薬品安全使用のための講習会、医療機器安全使用のための講習会	
4. 新入職員研修（全1回）	
5. 新人看護職員研修（全2回）	
6. 臨床研修医への研修会（全2回）	
7. リスクマネージャー研修（全1回）	
8. 看護師による静脈留置針研修 講義と実技試験（全7回）	
9. 人工呼吸器基礎講習会（全2回）	
10. 人工呼吸器応用講習会（全1回）	
11. 血液浄化装置基礎講習会（全2回）	
12. 患者急変シミュレーション講習会（全3回）	
13. 患者モニター講習会（全1回）	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 )
- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

1. 病院長、副院長、医療安全管理部長、医療安全管理部等の管理部門への報告  
体制の確立と組織的対応の実施
2. 電子カルテネットワークを用いた報告システムの運用
3. 総合医療安全対策会議及び緊急安全対策会議での事実確認及び組織的対応の実施
4. 総合医療安全対策会議及び医療安全推進委員会、医療安全管理部を通じた再発予防策の周知と徹底
5. 院内ラウンドによる評価、検証、フィードバックの実施
6. 事故等にかかる診療録、看護記録等の精査、指導
7. 東北厚生局、県央保健所、日本医療機能評価機構への適切な報告
8. 医療安全管理のための医療安全対策マニュアルの整備
9. 放射線・病理レポート未既読管理システムの運用

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容 :</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染対策に関する基本的考え方</li> <li>2. 院内感染対策のための委員会、その他の組織に関する基本的事項</li> <li>3. 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針</li> <li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針</li> <li>7. その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li> </ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容 :</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、病院長への報告</li> <li>2. 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに職員への周知を図る。</li> <li>3. 院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う。 月1回開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する。</li> </ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 22 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて） :</li> </ul> <p>※別添1参照</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備</li> <li>・ その他の改善の方策の主な内容 :</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染の発生状況を把握するため、病院における感染症の発生動向の情報を共有し、院内感染の発生の予防及びまん延の防止を図る。</li> <li>2. 重大な院内感染が発生し、院内のみでの対応が困難な事態が発生した場合、または発生したことか疑われる場合は地域の専門家等に相談が行われる体制の確保。</li> <li>3. 「院内感染対策の指針」に即した院内感染対策マニュアルの整備、及び見直し。</li> </ol>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容 :</li> </ul> <p>2023.5 総合医療安全対策会議「医薬品の安全管理について」（本開催1回、eラーニング公開）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>医薬品情報の収集と周知について</li> <li>医薬品の安全使用について（投与時の確認について/高濃度カリウム製剤、麻薬・毒薬・向精神薬・事故等の対応）</li> </ol> <p>2023.12 医薬品安全使用のため研修会・医療機器安全使用のため研修会（本開催1回、eラーニング公開）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>医薬品安全使用のための業務手順書（第9版）</li> <li>医療事故調査・支援センター報告書より</li> <li>最近の医薬品安全性通知、医療安全通知から <ul style="list-style-type: none"> <li>徐放性製剤の取り扱いについて <ul style="list-style-type: none"> <li>レニン-アンジオテンシン系阻害作用を有する医薬品（ACE阻害薬、ARB等）の胎児等への影響について</li> <li>DPP-4阻害薬による類天疱瘡への適切な処置について（副作用報告、副作用被害救済制度）</li> <li>二槽バッグ製剤（バッグ型キット製剤）の隔壁未開通事例について</li> <li>妊婦禁忌の新型コロナウイルス感染症治療薬の処方並びに調剤に関する合同声明文等の公表について</li> <li>造影剤の急性副作用発症の危険性低減を目的としたステロイド前投薬の処置内容について</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>医薬品の適応外使用について</li> <li>麻薬の事故報告から</li> </ol>	
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手順書の作成（有・無）</li> <li>手順書の内訳に基づく業務の主な内容 :</li> </ul> <p>「医薬品の安全使用のための業務手順書」に基づいた「業務チェック表」を各部署に配布し、チェックしたものを回収し確認している。その回収した「業務チェック表」を基に、医療安全管理部の薬剤師・看護師・医師および医薬品・栄養部会（薬剤師・看護師・医師など）で各部署を巡回し、指導を行っている。最終的に医薬品安全管理責任者が確認を行っている。</p>	
<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品に係る情報の収集の整備（有・無）</li> <li>未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば） :</li> </ul> <p>【適応外使用医薬品/使用事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メソトレキセート注射用/異所性妊娠</li> </ul>	

- ・ラパリムスゲル0.2%/家族性毛包上皮腫
- ・ケナコルトA筋注用関節腔内用水濁注/硝子体手術時の硝子体可視化
- ・フルオロウラシル、オキサリプラチン、レボホリナート/尿膜管癌
- ・リツキシマブBS点滴静注/難治性慢性炎症性脱髓性多発神経根炎
- ・リツキシマブBS点滴静注/抗NMDA受容体抗体脳炎
- ・ロゼウス静注液/横紋筋肉腫
- ・エンタイビオ点滴静注用/Hoyerall-Hreidarsson syndromeに伴う腸炎
- ・ボンゾール錠/先天性角化不全症に伴う造血不全
- ・ビムパット錠および点滴静注/けいれん（年齢における適応外使用）
- ・オラパリブ（治験薬）/進行卵巣癌
- ・リムパーザ錠/PALB2遺伝子変異陽性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌

- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

#### 1. 医薬品安全性通知

- ・徐放性製剤の取り扱い時の注意について
- ・レニン-アンギオテンシン系阻害作用を有する医薬品（ACE阻害薬、ARB等）の胎児への影響と注意事項について
- ・DPP-4阻害薬による類天疱瘡への適切な処置について
- ・テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウムの重篤な腎障害患者への投与禁忌について
- ・妊娠可能年齢の女性へ妊娠禁忌の新型コロナウイルス感染症治療薬を投与する際の注意喚起について

#### 2. 医療安全通知

- ・造影剤の急性副作用発症の危険性低減を目的としたステロイド前投薬の処置内容について
- ・二槽バッグ製剤（バッグ型キット製剤）の隔壁未開通事例について

#### 3. 医療安全情報通知

- ・2023年に提供した医療安全情報再発・類似症例

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 62 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容 :</li> </ul> <p>1. 医療機器の新規導入時における研修 (計28回)      2. 特定機能病院における定期研修 (年2回)      3. 臨床研修医、新人看護師の研修 (各1回)      4. 医療機器安全使用のための講習会 (年9回)      5. e-learningを用いた研修 (医療安全管理部にて集計)      6. その他の研修 (診療科・部署毎) (計22回)</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器に係る計画の策定 ( 有・無 )</li> <li>機器ごとの保守点検の主な内容 :</li> </ul> <p>1. 臨床工学技士による保守点検 (年1または年2回の院内保守 : 動作点検・消耗品交換等)      2. メーカーまたは委託専門業者による定期保守点検 (年1回程度の定期保守)      3. 保守付リース契約機器における専門業者による保守点検 (年1回の定期保守)</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</li> <li>未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) : なし</li> <li>その他の改善の方策の主な内容 :</li> </ul> <p>1. 不具合や安全性情報については、当該機器に関連する製造販売業者より、一元的かつ正確に情報収集を行い、得られた内容を集約し、関連する部署スタッフへ遅滞なく、情報の提供に努めている。      2. 医療機器の添付文章、取扱説明書や簡易操作手順書など、機器の安全使用・保守点検等に関する情報の整理および管理を実施。      3. 医療機器の不具合や健康被害等に関し情報収集に努め、病院管理者・医療安全管理部・医療機器安全管理責任者へ向けて、速やかに情報提供を行っている。      4. 医療機器に関連した、院内で発生したインシデント事例に関して、再発防止対策のために通知文を作成し、関連部署へ周知を図っている。</p> <p>例① : 壁掛け式ディスポ吸引機において、内部部品の早期劣化による作動不良事故（設定吸引圧以上に陰圧がかかる）事例を受けて、同製品の全数調査から、同症状の不具合機器の回収作業を実施。取り扱い方法の不備が疑われたことから、適正使用方法について現場へ指導を行った。</p> <p>例② : メーカーからの報告より、院内で使用している体外式ペースメーカーにおいて、内部基盤部品の製品不良および経年劣化から、バックアップペーシング機能が適切に作動しない可能性があることを受け、電池交換時の対応方法を院内通知として発出、周知を図った。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

## 規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・責任者の資格（医師・歯科医師）</li> <li>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</li> </ul> <p>医療安全管理責任者は副院長であり、医療安全管理部長及び医療安全推進委員会委員長を兼務して、各組織を統括している。また、医薬品安全管理責任者・医療機器安全管理責任者・医療放射線安全管理責任者は医療安全推進委員会委員であり、同委員会での報告を医療安全管理責任者が受けることにより、その業務を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（12名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況（済）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</li> </ul> <p>薬剤部医薬品情報管理室（DI室）において、厚労省、PMDA、日本医療機能評価機構、日本病院薬剤師会ホームページおよび製薬企業等から情報を収集し整理を行っている。また、医療安全管理部専従薬剤師と情報の共有を行っている。情報共有の周知方法としては、①定期的には「医薬品・医療機器等安全性情報」やDSU（医薬品安全対策情報）、医療安全管理部から「医薬品に関する院内インシデント報告」の発行、および薬剤部から「DIニュース」の発行。②緊急時の場合等には必要に応じ、医療安全管理部から「医療安全通知」および薬剤部からの「薬務連絡」「医薬品安全性通知」の発行。</p> <p>③電子カルテに「医薬品関連情報」ページを開設し、職員がいつでも確認できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</li> </ul> <p>未承認・適応外・禁忌（併用・疾患）等については調剤時の疑義照会や病棟薬剤師による把握に務めている。把握できたデータは、持参薬鑑別時のものを含めて、医薬品情報管理室（DI室）に集約し、集計後、医薬品安全管理責任者に報告している。また、処方医に対する確認や指導を行う手順については、①調剤時や病棟薬剤師ができるだけ疑義照会を行う。②DI室で集約検討後、医薬品安全管理責任者と協議の上、「医薬品安全情報」を作成し、文書にて全体への周知の他、該当診療科や担当医師へ報告を行っている。③状況に応じて、担当医師へ電子カルテや直接の報告を行い、検討を促すなどを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者の指名の有無（有・無）</li> <li>・担当者の所属・職種：</li> </ul> <p>（所属： 薬剤部医薬品情報管理室， 職種 薬剤師）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無

- ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (  有 ·  無 )
- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容
  - ：病状説明書・同意書を病院統一の様式に変更し、既存の様式で変更等があれば隨時対応している。新規申請については、病院情報管理課（診療情報管理室）並びに医療安全管理部が連携し確認している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無
・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容 :	
診療記録監査委員会にて監査基準に沿って確認し、不備がある場合は改善するよう指導している。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無
・ 所属職員：専従（5）名、専任（5）名、兼任（7）名 うち医師：専従（1）名、専任（）名、兼任（2）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（3）名、専任（）名、兼任（1）名	
(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること	
・活動の主な内容 :	
1. 医療安全に係る会議資料及び議事録の作成等の事務	
2. 事故等発生時の患者等への対応状況の要因分析と再発予防策の立案及び指導	
3. 事故等の原因究明の実施状況等の要因分析と再発予防策の立案及び指導	
4. 医療に関わる安全管理のための職員研修の企画・実施	
5. 医療安全対策マニュアルの整備、職員への周知	
6. 医療安全対策に関する職員への周知及び評価	
7. 医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリング -院内巡視によるスタッフミーティングで提起された改善策の実施確認 -全手術におけるオカレンスのモニタリング -放射線・病理レポートの見落とし防止策の実施と指導、他	
8. 医薬品、医療機器、医療放射線の安全使用に関する管理状況の確認及び必要な指導	
9. 患者相談窓口の相談情報の把握及び相談体制への支援、医療安全管理への活用及び反映	
※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（4件）、及び許可件数（4件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
  1. 高難度新規医療技術の提供に係る担当部門として医療安全管理部に設置
  2. 高難度新規医療技術の申請内容の確認
  3. 評価委員会の意見を踏まえ、申請内容の可否を決定
  4. 定期的（退院後を含む）に手術記録・診療録等によって技術提供状況を確認
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（14件）、及び許可件数（14件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
  1. 未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に係る担当部門として医療安全管理部に設置
  2. 未承認新規医薬品等の申請内容の確認
  3. 評価委員会の意見も踏まえ、申請内容の可否を決定
  4. 定期的に診療録等の記載内容を確認
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 770 件（※入院 694 件、外来 76 件）
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及

び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 315 件 (3b、4a、4b)

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

1. 医療安全管理部、医療安全管理部長、副院長、病院長で全死亡症例の死亡前から死亡に至る過程の診療記録等を回覧し、妥当性を検証
2. 疑義が生じた場合は、当該部署に対して医療安全管理部が確認、更なる確認が必要な場合等は緊急安全対策会議を開催して確認、妥当性を検証
3. 必要な合併症・偶発症報告を推奨し、必要な再発防止策の策定や指導を行う。それらの結果を病院長に報告すると共に、医療安全推進委員会で周知

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り (  (病院名：埼玉医科大学病院) ・無)
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ (  (病院名：埼玉医科大学病院) ・無)
- ・技術的助言の実施状況

【技術的助言①】

インシデント・重大インシデントについて医師の報告件数を増やすための取り組みや合併症発生時の提出、セフティナースの働きかけなどにより多くの報告がされていると感じました。一方で、重大インシデントが発生した際の部署における RCA 実施時には医療安全管理部の介入やその後のモニタリング評価がなされると良いと思います。

【実施状況①】

医療安全推進委員会において、部署でのスタッフミーティング開催の際は医療安全管理部に一報を頂くよう呼びかけている。また、すでにスタッフミーティングが開催された場合は、報告書の内容を確認し必要時に助言・介入を行っている。また、重大インシデントの内容によっては必ず多職種ミーティングを開催し振り返りを実施するよう依頼している。スタッフミーティング 6か月後には必ず部署評価を実施し、その間医療安全管理部では同様の事象が発生していないか確認している。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者サポートセンターに窓口を設置し、医療ソーシャルワーカーが対応している。「医療相談・苦情相談等にかかる業務規程」に則り対応している。相談に応じる時間帯は、月曜日から金曜日は、8:30~17:00、第 1・第 4 土曜日は、8:30~12:30。対面、電話による相談を受け付けている。面談時は個室を利用し、プライバシーの保護に努めている。匿名での相談も受け付けている。院内 24 か所にポスター「医療福祉相談窓口のご案内」を掲示し、周知を図っている。安全管理に関する

相談については、窓口責任者（医療福祉相談室総括課長）を通じ、医療安全管理部、当該部署へ報告し、協議・対応にあたっている。病院長をはじめとする管理部門へも報告している。また患者サポート体制充実加算カンファランスを週1回開催し、相談内容を報告・共有している。病院職員全体に周知が必要な場合は、病院運営会議、管理者会議等で報告し、共有している。

## ⑫ 職員研修の実施状況

### ・研修の実施状況

1. 総合安全対策講習会（本開催1回、eラーニング公開）  
医療安全対策、医療関連感染制御、医薬品の安全使用、医療機器の研修、  
診療用放射線の安全管理
2. 医療安全対策講習会（本開催1回、eラーニング公開）  
「せん妄について」
3. 医薬品・医療機器講習会（本開催1回、eラーニング公開）  
医薬品安全使用のための講習会、医療機器安全使用のための講習会
4. 新入職員研修（全1回）
5. 新人看護職員研修（全2回）
6. 臨床研修医への研修会（全2回）
7. リスクマネージャー研修（全1回）
8. 看護師による静脈留置針研修 講義と実技試験（全7回）
9. 人工呼吸器基礎講習会（全2回）
10. 人工呼吸器応用講習会（全1回）
11. 血液浄化装置基礎講習会（全2回）
12. 患者急変シミュレーション講習会（全3回）
13. 患者モニター講習会（全1回）

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

## ⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

### ・研修の実施状況

【管理者】（小笠原 邦昭）

日本医療機能評価機構「2023年度特定機能病院管理者研修（2023.12.15）」

【医療安全管理部長】（肥田 圭介）

日本医療機能評価機構「2023年度特定機能病院管理者研修（2024.2.6）」

【医薬品安全管理責任者】（朝賀 純一）

日本医療機能評価機構「2023年度特定機能病院管理者研修（2024.1.9）」

【医療機器安全管理責任者】（鈴木 健二）

日本医療機能評価機構「2023年度特定機能病院管理者研修（2024.1.15）」

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のため講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

病院機能評価（審査実施日2020年8月26日～28日）

2021年度 第1回医療安全に係る監査委員会（2021年9月1日開催）

2021年度 第2回医療安全に係る監査委員会（2022年3月14日開催）

2022年度 第1回医療安全に係る監査委員会（2022年12月23日開催）

2022年度 第2回医療安全に係る監査委員会（2023年2月21日開催）

2023年度 第1回医療安全に係る監査委員会（2023年9月8日開催）

2023年度 第2回医療安全に係る監査委員会（2024年2月20日開催）

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

病院機能評価で指摘された医療安全に関する評価項目については、課題としてあげられた点を改善すべく院内の体制整備等の取り組みを行い、最終的な審査結果は学内ウェブページに公開し、全職員が閲覧可能となっている。監査委員会の監査内容については議事録を附属病院ホームページ上に公開している。

・評価を踏まえ講じた措置

監査委員会で指摘された「病棟配置薬の削減」について、病棟薬剤師による毎月の払い出し数の調査、及び、医療安全管理部が行う巡回時の確認と聞き取りにより徐々にではあるが病棟配置薬の定数削減を行っている。また、2024年度は医薬品安全管理責任者と医療安全管理部専従薬剤師による院内巡回を開始し、電子カルテ上での予測指示薬の運用変更を行う等、病棟配置薬の削減に向けた取り組みを継続している。

（注）記載時点の状況を記載すること

## 2023年度 感染対策講習会（実績）

全職員対象	講習会	開催日・開催回数	内容・講師
	1 総合安全対策講習会	eラーニング	総合安全対策講習会 医療安全管理部、感染制御部、薬剤部、CEセンター、放射線医学講座
	2 感染対策講習会	2023年9月8日 他 eラーニング	演題 新型コロナウイルス感染症の現状と対策 大阪大学大学院 医学系研究科 感染制御学講座 忽那 賢志 教授
	3 感染対策講習会	2023年12月12日 他 eラーニング	演題 抗インフルエンザ薬の使用 2023-2024 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 成田 雅 先生
	4 感染対策講習会	2024年3月6日 他 eラーニング	演題 チームで取り組む抗菌薬適正使用 静岡県立静岡がんセンター 感染症内科 部長 倉井 華子先生

職種別・部署別対象	講習会	開催日	内容・講師
	1 新人職員研修	2023年4月3日	オリエンテーション、PPE・マスク着脱、手洗い実習 感染制御部専従 近藤啓子/嶋守一恵/及川みどり/大森紀和
	2 新人看護職員研修	2023年5月12日	新人看護職員 安全なケアの実践研修（感染対策） 感染制御部専従看護師 及川みどり
	3 看護補助者研修（2年目以上）	2023年6月22日	看護補助者研修 感染制御部専従看護師 嶋守一恵
	4 看護補助者研修（2年目以上）	2023年9月22日	看護補助者研修 感染制御部専従看護師 嶋守一恵
	5 看護補助者研修①	2023年4月7日	看護補助者研修 感染制御部専従看護師 嶋守一恵
	6 看護補助者研修②	2023年7月13日	看護補助者研修 感染制御部専従看護師 嶋守一恵
	7 看護補助者研修③	2023年10月4日	看護補助者研修 感染制御部専従看護師 嶋守一恵
	8 看護補助者研修④	2024年1月16日	看護補助者研修 感染制御部専従看護師 嶋守一恵
	9 PLN <sup>*</sup> 研修会①	2023年6月13日	事例検討 感染制御部専従看護師 及川みどり 近藤啓子
	10 PLN <sup>*</sup> 研修会②	2023年12月12日	検体採取の注意点と細菌結果の見方/抗菌薬の適正使用と看護師の役割 細菌検査室副技師長 成田和也 / 感染制御部専従薬剤師 大森紀和
	11 栄養部および委託業者 調理師研修①	2023年6月16日	使用済み食器の取り扱いと消毒について、感染性胃腸炎 感染制御部専従看護師 近藤啓子
	12 CVC講習会	2023年6月21日	中心ライン関連血流感染予防策 他 感染制御部専従看護師 近藤啓子
	13 委託業者 清掃・リネン業者教育研修①	2023年8月23日	職業感染防止と対策 感染制御部専従主任看護師 嶋守一恵
	14 委託業者 清掃・リネン業者教育研修②	2023年9月12日	職業感染防止と対策 感染制御部専従主任看護師 嶋守一恵
	15 抗菌薬適正使用にかかる研修	2024年2月26日・27日	抗菌薬適正使用について
	16 周術期感染管理研修会	2023年11月28日	手術部位サーベイランスの必要性と効果的な運用とは
	17 栄養部および委託業者 調理師研修②	2023年11月1日	食中毒の予防と院内感染対策 感染制御部専従看護師 近藤啓子
	18 専門・認定看護師会 感染管理研修会	2023年9月13日	チームで楽しく感染対策を学ぼう 感染制御部専従看護師 及川みどり 近藤啓子

\*PLN : Practice Leader Nurse(実践指導者ナース)

## 規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

### 管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容
  - (1) 医師であること
  - (2) 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有すること
  - (3) 組織管理能力等の附属病院を運営する上で必要な資質及び能力を有すること
- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (  有 ·  無 )
- ・ 公表の方法

附属病院ホームページに掲載

## 規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

### 前年度における管理者の選考の実施の有無 有 · 無

- ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (  有 ·  無 )
- ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (  有 ·  無 )
- ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (  有 ·  無 )
- ・ 公表の方法

附属病院ホームページに掲載

### 管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
小笠原 邦昭	岩手医科大学	○	学長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無
佐々木 真理	岩手医科大学		医学部長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無
小林 琢也	岩手医科大学		歯学部長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無
森野 穎浩	岩手医科大学		附属病院長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無
鈴木 健二	岩手医科大学		学長が指名する医師である副院長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無
肥田 圭介	岩手医科大学		医療安全管理を担当する副院長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無
宮田 剛	岩手県立中央病院 病院長		医学及び医療に関し識見を有する学外者	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無
野原 勝	岩手県保健福祉部 部長		医学及び医療に関し識見を有する学外者	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無																																																																																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>合議体の主要な審議内容 附属病院の管理運営に関する重要事項</li> <li>審議の概要の従業者への周知状況 議事の概要については、附属病院臨床部長会議にて通知を行う</li> <li>合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）</li> <li>公表の方法 附属病院ホームページに掲載</li> <li>外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）</li> </ul>																																																																																					
合議体の委員名簿																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名</th><th>委員長 (○を付す)</th><th>職種</th><th>役職</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>森野 穎浩</td><td>○</td><td>医師</td><td>病院長</td></tr> <tr><td>下沖 収</td><td></td><td>医師</td><td>内丸メディカルセンター長</td></tr> <tr><td>石垣 靖</td><td></td><td>医師</td><td>副院長</td></tr> <tr><td>櫻庭 実</td><td></td><td>医師</td><td>副院長</td></tr> <tr><td>鈴木 健二</td><td></td><td>医師</td><td>副院長</td></tr> <tr><td>馬場 長</td><td></td><td>医師</td><td>副院長</td></tr> <tr><td>肥田 圭介</td><td></td><td>医師</td><td>副院長</td></tr> <tr><td>眞瀬 智彦</td><td></td><td>医師</td><td>副院長</td></tr> <tr><td>新田 浩幸</td><td></td><td>医師</td><td>副院長</td></tr> <tr><td>佐藤 悅子</td><td></td><td>看護師</td><td>副院長・看護部長</td></tr> <tr><td>西島 瞬生</td><td></td><td>医師</td><td>内丸メディカルセンター副センター長</td></tr> <tr><td>山田 浩之</td><td></td><td>歯科医師</td><td>歯科医療センター長</td></tr> <tr><td>伊藤 薫樹</td><td></td><td>医師</td><td>病院長補佐</td></tr> <tr><td>前田 哲也</td><td></td><td>医師</td><td>病院長補佐</td></tr> <tr><td>小原 航</td><td></td><td>医師</td><td>病院長補佐</td></tr> <tr><td>房崎 哲也</td><td></td><td>医師</td><td>病院長補佐</td></tr> <tr><td>工藤 賢三</td><td></td><td>薬剤師</td><td>薬剤部長</td></tr> <tr><td>植木 葉子</td><td></td><td>看護師</td><td>副看護部長</td></tr> <tr><td>村山 裕孝</td><td></td><td>事務</td><td>病院事務部長</td></tr> <tr><td>青木 慎也</td><td></td><td>事務</td><td>病院事務部次長</td></tr> </tbody> </table>		氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職	森野 穎浩	○	医師	病院長	下沖 収		医師	内丸メディカルセンター長	石垣 靖		医師	副院長	櫻庭 実		医師	副院長	鈴木 健二		医師	副院長	馬場 長		医師	副院長	肥田 圭介		医師	副院長	眞瀬 智彦		医師	副院長	新田 浩幸		医師	副院長	佐藤 悅子		看護師	副院長・看護部長	西島 瞬生		医師	内丸メディカルセンター副センター長	山田 浩之		歯科医師	歯科医療センター長	伊藤 薫樹		医師	病院長補佐	前田 哲也		医師	病院長補佐	小原 航		医師	病院長補佐	房崎 哲也		医師	病院長補佐	工藤 賢三		薬剤師	薬剤部長	植木 葉子		看護師	副看護部長	村山 裕孝		事務	病院事務部長	青木 慎也		事務	病院事務部次長
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職																																																																																		
森野 穎浩	○	医師	病院長																																																																																		
下沖 収		医師	内丸メディカルセンター長																																																																																		
石垣 靖		医師	副院長																																																																																		
櫻庭 実		医師	副院長																																																																																		
鈴木 健二		医師	副院長																																																																																		
馬場 長		医師	副院長																																																																																		
肥田 圭介		医師	副院長																																																																																		
眞瀬 智彦		医師	副院長																																																																																		
新田 浩幸		医師	副院長																																																																																		
佐藤 悅子		看護師	副院長・看護部長																																																																																		
西島 瞬生		医師	内丸メディカルセンター副センター長																																																																																		
山田 浩之		歯科医師	歯科医療センター長																																																																																		
伊藤 薫樹		医師	病院長補佐																																																																																		
前田 哲也		医師	病院長補佐																																																																																		
小原 航		医師	病院長補佐																																																																																		
房崎 哲也		医師	病院長補佐																																																																																		
工藤 賢三		薬剤師	薬剤部長																																																																																		
植木 葉子		看護師	副看護部長																																																																																		
村山 裕孝		事務	病院事務部長																																																																																		
青木 慎也		事務	病院事務部次長																																																																																		

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（・無）

- 公表の方法

附属病院ホームページに掲載

- 規程の主な内容

附属病院長が有する附属病院の管理及び運営に必要な人事及び予算執行権限については、次の各号のとおり定めるものとする。

(1) 人事執行権限について 岩手医科大学附属病院規程

(2) 予算執行権限について 学校法人岩手医科大学事務専決規程

- 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
附属病院に、副院長を置く。

副院長は、附属病院長を補佐し、附属病院長に事故あるときは、あらかじめ附属病院長が指名した者がその職務を代理する。

- 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「2024年度特定機能病院管理者研修（初回・1日間）」を受講予定（2024年12月開催）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況	有・無				
・監査委員会の開催状況：年 2 回					
・活動の主な内容：					
① 医療安全管理責任者、医療安全管理部、総合医療安全対策会議、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務状況について附属病院長等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。					
② 必要に応じて、理事長又は附属病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。					
・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）					
・委員名簿の公表の有無（有・無）					
・委員の選定理由の公表の有無（有・無）					
・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無）					
・公表の方法：					
附属病院ホームページに掲載					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
佐藤 伸之	青森県立中央 病院 医療安全 推進監、医療安 全管理室長	○	医療に係る安全 管理に関する識 見を有する者	有・無	1
長谷川 頌	長谷川菜園法 律事務所代表		法律に関する識 見を有する者	有・無	1
奥寺 高秋	元岩手県職員		医療を受ける者 その他医療従事 者以外の者	有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

内部監査室において、定期監査及び臨時監査を実施している

・専門部署の設置の有無（・無）

・内部規程の整備の有無（・無）

・内部規程の公表の有無（・無）

・公表の方法

附属病院ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に  
係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 附属病院長に対し、附属病院の管理及び運営に関する事項の概要を、理事会に報告する ことを義務付け、職務の執行を管理している。</li><li>会議体の実施状況（年11回）</li><li>会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年11回）</li><li>会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</li><li>公表の方法 附属病院ホームページに掲載</li></ul>

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

## 規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

### 窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（・）
- ・通報件数（年 21 件）※2023年度件数
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（・）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（・）
- ・周知の方法

内部通報窓口の存在及び窓口の使用方法は、総合医療安全対策会議議事録（回覧）及び医療安全推進委員会資料の表紙に記載して周知している。また、「医療安全専用の赤ポスト」を病院職員エリア3カ所に設置し環境を整備している。